

「東京真田町の会」会報

日本夕ボス

平成 27 年 12 月 26 日



ふるさとの秋色

… 帰郷心をそそるところまでも続く

色鮮やかなサルビアの路傍…

NO.

28

写真提供：深町共栄理事



ふるさとを偲ぶアルバム

ふるさとの風景…上段左：本城跡から上田市を望む 上段右：本城跡から菅平高原を望む

ふるさとのイベント①…二段目：ロマンウォーク 左-真田氏館跡 右-真田氏本城跡

ふるさとのイベント②…下段：真田地域一周駅伝 左-第二中継点(お屋敷公園)

中-第三中継点(黒門前)

ふるさとのイベント③…下段右-そえひ縁人の文化・収穫祭(傍陽小)

写真提供：真田地域自治センター 地域振興課



ごあいさつ

会長 山口 元彦

(横沢 出身)



今年の夏は記録的な猛暑でしたが、皆さまお変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。日頃は会の運営にしたいとお世話になり、また、上田市の皆さまには温かいご支援を賜っておりますことを、心より感謝申し上げます。

五月二十四日の第二十八回総会・

懇親会には、多数の会員及び同僚の皆さまがご出席下さり、また、ふるさとからは井上副市長様、下村議長様をはじめとする行政及び議会のトップの方々並びにJA信州うえだの塩川常務理事様ほかがおいで下さいました。さらに、真田幸村公直系の仙台真田家第十四代当主真田様にも御列席いただくとともに、来年のNHK大河ドラマ「真田丸」の担当プロ

ロデューサー清水様をお招きし、「真田丸」の構想や準備状況などをお話しいただきました。皆さまご多忙な中をお越し下さいましたこと、お陰様で充実した会にすることができましたことを、この場を借りて御礼申し上げます。(御来賓の方々の詳細及びお話の内容などにつきましては、別稿の総会報告をご覧ください。)

さて、「真田丸」放映を前にして、地元では観光客歓迎のため、トイレなどの設備面及び土産品や観光ガイドなどの整備が急ピッチで進められており、また、市民会館跡地に「大河ドラマ館」の建設が行われるなど、熱い取り組みがなされています。

当会のふるさと訪問旅行も、今年は、真田昌幸公・幸村公が関ヶ原の戦いの後に配流された和歌山県の九度山町を訪れました。御両公が不遇をかこちながらお過ごしになり、また、幸村公が大阪入城をご準備なさった地ですから、私たちにとつてもたいそう縁の深い所ですので、放映前に是非とも訪問したいと考えました。そこで、真田地域自治センターの高橋センター長様にお願したところ、センター幹部の皆様のご尽力と上田

市長様のご配慮をいただき、真田地域の皆さまと一緒の機会に実現できた次第です。旅行のご報告は、参加された方の訪問記にお譲りし、ここでは、私たちの念願をお聞き届けくださった上田市関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

ところで、昨年末発行の「日本ダボス」第二十七号誌上において、当会の会費を年一五〇〇円に増額したい旨をお願いしました。それ以降、本年度の総会までの間にこれに関するご意見をお寄せ下さった方はなく、また、総会においては、満場一致で増額にご同意いただきました。そこで、五月八日の理事会において、平成二十八年度から、会費額を年一五〇〇円とする旨を決定しました。つきましては、まことに恐縮ですが、来年四月一日以降分の会費は、年額一五〇〇円をお振り込みください。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひ申し上げます。

なお、昨年からの、従前からの広告主に加えて、JAやそのほかの多くの団体又は個人の皆さまから新規の広告をいただきました。心からお礼を申し上げます。

さて、いよいよ待望の「真田丸」放映開始が目前になりました。存分に楽しみながら、幸村公から活力をいただいで、私たちもさらに前進いたしましょう。

「明るい未来の

創造にむけて」

上田市長 母袋 創一



東京真田町の会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から故郷にお寄せいただいております御支援と御協力に、心から感謝申し上げます。

さて、新春からのNHK大河ドラマ「真田丸」はいよいよ放送間近となり、上田城跡公園及び真田地域の真田氏ゆかりの史跡や施設等を訪れる観光客も増加するなど、市全体が盛り上がりを見せております。市ではお越しになる観光客の皆様へ「まごころ」を持って迎えするために、「おもてなしの態勢整備」の取り組みを進めてきました。上田城跡公園周辺の整備、真田地域における関連施設の駐車場、観光トイレ、案内看板の整備などを進め、一月には旧市

民会館に大河ドラマ館がオープンします。大河ドラマ放送を機に、観光振興について、積極的に事業展開を進め、全国に「信州上田」を情報発信し、更なる知名度アップと観光交流人口の増加、市内全体の賑わいの創出を図ってまいります。

平成十八年三月六日の合併により新生上田市が誕生してから、来年三月で十周年を迎えます。この間、地域と地域の連携、人と人との交流を通じて新市の一体感の醸成に努めてまいりました。この節目の年を迎えるに当たり、これまでの新市の歩みを振り返りながら、十年先、二十年先に向けた飛躍の年となりますことを祈念して、「合併十周年記念事業」を実施いたします。記念式典は平成二十八年六月に開催を予定しております。その他にも、各種記念事業を展開しながら、新市の一体感の更なる深化を図ってまいります。

「サントミューゼ」交流文化芸術センター・市立美術館はオープン以来、子どもからお年寄りまで幅広く、さまざまな文化芸術に触れ、感動を共有し、利用された皆様からも高い評価をいただいております。このサントミューゼを拠点とした文化創造の取り組みが、感性豊かな子どもたちの成長支援、心豊かなライフスタイルの実現につながるよう、引き続き魅力ある事業を展開してまいります。

これから、大河ドラマの放送、二〇一九年のラグビーワールドカップ、二〇二〇年の東京オリンピックの開催など、国内外に向けて上田市をPRできる、またとないビックイベントが続きます。今後、明るい未来の創造に向けて、着実に前進してまいりますので、ふるさと上田市を温かく見守っていただき、引き続き変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会の益々の御発展と、会員の皆様の御多幸を心から祈念し、会報「日本ダボス」に寄せるあいさつといたします。

順風を帆に受けて

上田市議会議長 下村 栄



本年五月に東京真田町の会にお招きいただいた際には、ご欲待いただき、また会員の皆様の変わらぬ故郷への愛情を示していただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。さらに、この「日本ダボス」第二十

八号の発行につきましてもお喜び申し上げますとともに、会員の皆様が意欲的な活動を続けておられますことの証として、敬意と感謝の意を表します。

今上田市、とりわけ真田地域にはこれまでにはないような順風が吹いてきていると実感しております。そのひとつはもちろん、来年一月十日から始まりNHK大河ドラマ「真田丸」の放送です。この十月十日には上田城櫓門の前にてその日に向けての気運を高めるべく出陣式のイベントも行われ、全国から観光客の皆様をお迎えする準備が着々と進められているところであります。上田城周辺では駐車場の増設や大河ドラマ館の整備、真田氏発祥の地の真田地域では案内看板の整備や一日三百円でゆきむら夢工房から真田氏歴史館や真田氏ゆかりの場所を巡ることができるようバス運行などが始められております。お聞きしたところでは既に遠方から、「真田丸」の舞台であることを理由とした観光客の方々が上田市を訪れ始めているというところであります。市議会といたしましても大きな関心と期待を寄せているところであります。

そしてもうひとつは、過日のラグビーワールドカップにおける日本代表チームの歴史的な活躍であります。もとより菅平は日本のラグビーの聖地であることから、日本代表の菅平亘宿

などを通じて二〇一九ワールドカップ日本大会のキャンプ地誘致に取り組んでいるところですが、このところのラグビー人気の高まりは同時に菅平の知名度をさらに一般に広め、キャンプ地誘致の成功やその先にあるトップアスリートも利用するスポーツトレーニング拠点の構想実現にも寄与するものとして期待しております。

振り返れば、上田市は合併から十年が経過し、来年はその記念の年でもあります。十年前誕生した「上田丸」がこれらの順風を帆に受けて、さらにこの先十年、二十年の人口減少社会への航海においてよい方向に進んでいくよう願うとともに、その舵取りにおいて市議会としての責任を果たしていく所存です。

東京真田町の会の皆様におかれましては、このようなことを心に留めていただき、時折上田市を訪れて直にその姿をご覧いただきながら、今後とも末永く上田市を見守ってくださいとう、お願いいたします。

末筆ながら、この会報を通じて皆様の交流がさらに深まり、東京真田町の会が益々発展されますことを心から祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



ふるさと真田の更なる発展にむけて

真田地域自治センター長 高橋 義幸



皆さまのお手元に会報が届く頃は、真田の里も初冠雪が訪れる頃かと思えます。

私も真田地域にお世話になってから早4年目を迎えることができました。

5月の総会の折は、毎年温かくお迎えをいただき、また、今年初めてお持ちした地元特産品も沢山ご購入をいただき、たいへんありがたく心より感謝を申し上げます。

さて、来年一月からのNHK大河ドラマ「真田丸」の放送がいよいよ間近に迫ってまいりました。今年九月には、真田氏本城跡での現場ロケも晴天に恵まれ無事終了し、観光客をお迎えするための駐車場や観光トイレなどの受け入れ態勢もほぼ整ってまいりました。一月中旬には、旧上田市民会館に大河ドラマ館もオープンします。里帰りの際には、是非一度故郷真田の誇りと魂に触れて

いただきますとともに、TVに囁り付いていただきドラマ全体を盛り上げていっていただければ幸いです。ごさいます。

ところで、先月の十四、十五日には姉妹都市紀州九度山町への訪問交流ツアーを募集いたしましたところ、二十人もの会員の皆さまにご参加いただき誠にありがとうございました。当日は、真田からも三十人を超える訪問団と現地で合流をいただき、九度山町の皆さまの熱烈な歓迎の中、真田つながりの友情と懇親を深めていただきました。

また、特別ご参加をいただいた「三代目コロムビア・ローズ」改め「野村未奈」さんの新曲披露には、十分ご満足いただけたものと思っております。今後、ご参加いただいた皆さまの感想など伺いながら、交流事業の内容について検討してまいります。いと考えております。

真田地域の発展には、菅平高原の活性化はなくてはなりません。今年イギリスで開催されたラグビーワールドカップにおいては、日本代表チームの大活躍が世界からも注目を集めました。毎年地元菅平においてのハードな合宿で鍛えてきたからこ

そ、世界に通用する集団に育ってきたことは、地元としてもたいへん誇らしいことと思っております。

四年後の二〇一九年には、そのワールドカップが日本で開催され、菅平は各国のチームのキャンプ地として名乗りをあげております。

どうか会員の皆さまには、真田丸同様絶大なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会並びに会員の皆さまの益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げ、あいさつとさせていただきます。

.....

真田中学校が創立

60周年を迎えました

上田市議会議員

古市 順子



真田の郷も秋が深まり、紅葉が美しい頃となりました。今年も5月の総会の折は、大変あたたかく迎えていただき、ありがとうございます。

さて、NHK大河ドラマ「真田丸」の放映が来年1月から始まるということで、観光客の受け入れ態勢のハード面の整備が急ピッチで進められています。御屋敷公園トイレ・真田氏本城址トイレ、真田氏歴史館前駐車場、長谷寺参道前の道路拡幅・駐車場、ゆきむら夢工房前のバス停、下原交差点の右折レーン等整備が行われています。

ソフト面では行楽シーズンにあわせ、あちこちで住民の皆さまのお茶のサービス等が始まりました。また昨年からは始まった地元農産物を売る歴史館の「ゆきむら市」もブルーベリ、桃、リンゴなど好評で、道を開かれることも多いようです。今でも観光客は大幅増えているようです。訪れた方が「いい所だな。」と思われて帰られるように、地元として心がけていきたいと思えます。

10月30日には、真田中学校の創立60周年記念式典がありました。会員の皆さまの中学時代はいかがだったでしょうか。今の中学校は地域の文化の拠点ですが、真田中学は木を多用した落ち着いた校舎で、生徒たちがのびのび活動しています。

記念式典といっても堅苦しいものではなく、卒業生によるエレクトーン演奏や吹奏楽部の演奏、生徒も交えたパネルディスカッションがあり、充実した内容でした。

真田の里から2015

上田市議会議員
三井 和哉



今年度真田中学校は、長野県の学校給食優良校として表彰され、60周年に花を添えました。真田中学校の給食の特徴は「地域食材を活用することで、食・農・命のつながりを感じる手立てとする。」ということ、毎食真田産の精白米に発芽玄米を10%入れた米飯給食です。パネルディスカッションは「真田中の食育・これから」というテーマで、現在の米飯給食を始められた大塚元真田町教育長、市場元真田中学校栄養士、毎年学校が取り組む「健康フォーラム」に参加されている岡山県川崎医療福祉大学の小野寺教授が参加されました。米飯給食を定着させるまでの苦労話をお聞きし、また食育の精神が受け継がれ、生徒やPTAも含め豊かに実践されていることに、温かな賛辞と励ましをいただきました。

市場先生は上田市の学校給食運営審議会会長も務められ平成23年6月には答申されていますが、上田市ではようやく今年度中に一定の方針を示す予定です。私は「答申内容を最大限尊重して検討すべき」と何度か議会質問しました。私は改めて真田地域の自校給食を守り、上田市全域がより豊かな食育が実践できるよう努めていきたいと思えました。

最後になりましたが、会員の皆様にはますますお元気で、ご活躍されますよう心からお祈り申しあげます。

過日の東京真田町の会の総会では、お世話になりました。

いつもの懐かしいお顔に逢え、嬉しかったのと同時に、体調を崩されるなどして出席がかなわなかった方もおられ、残念な心持ちも少ししました。

さて、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送も秒読み段階に入り、真田の里はすでに観光客でにぎわっておりますが、県道の下原折レインの増設、ゆきむら夢工房前路線バス停車場の拡張などをするとともに、真田氏歴史館・本城跡・長谷寺など真田氏ゆかりのスポットの駐車場整備とそれらを結ぶ「真田の里周遊観光バス」の運行など、お客様を迎える体制に万全を期しています。

また、真田の地域づくりの一環として、平成28年7月30日から8月16日まで、飯山市にある「高橋

まゆみ人形館」のご協力のもと、幼い頃の記憶と懐かしい風景が甦る、「高橋まゆみ人形展」を、真田中央公民館を会場に開催すべく準備をしていますので、「さなだ祭り」参加やお盆のご先祖供養などで真田に帰られた際には、こちらにもぜひ足を運び下さい。

終わりに「東京真田町の会」の皆様は益々のご健勝とご多幸を祈念いたします。ご挨拶とさせていただきます。

千載一遇のチャンスを迎えるふるさと

上田市議会議員
佐藤 論征



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。本年も五月の総会にお招きをいただき、皆様の変わらぬ故郷への想いにふれ、大変楽しい時間を過ごさせていただき、誠にあり

がとうございました。

また、今年の総会には、来年NHK大河ドラマ「真田丸」の放送が予定されていることから、仙台真田家の真田徹様、NHK放送局 大河ドラマ「真田丸」プロデューサー清水拓哉様をお迎えしご講演いただき、例年にも増して盛大に総会が挙行され、素晴らしい総会となりました。改めてこの伝統ある東京真田町の会の素晴らしいさを感じ、継続的に活動いただいている皆様に敬意を表するとともに、いつまでも故郷に想いをお寄せいただくことに感謝をいたすところでございます。

さて、いよいよNHK大河ドラマ「真田丸」の放送が目前に迫ってまいり、故郷真田町では、受け入れ態勢の整備も急ピッチに進められ、道路の拡張、駐車場整備が行われ、故郷の様子がだいぶ変わってきております。いよいよロケ撮影などもはじまり、日々観光客も増えている状況でございます。九月のシルバークイークには真田歴史館においては、来館者数がキャパシティをオーバーし入場制限をかけるほどでございます。放送が開始される来年につきましては、更に観光客が増えることが予想され、30年前の「真田太平記」放送時より大勢の方が真田町を訪れられると思われまます。この千載一遇のチャンスに上田市の知名度を上げ、継続的に観光客を呼び込める

ように議会でも取り組みを強めているところがございます。来年は東京真田町の会の皆様にも、盛り上がる故郷へ例年以上にご帰郷いただき、我々後輩にご支援、ご助言をこれま

で以上にいただきますようお願い申し上げます。また、ラグビー日本代表がラグビーワールドカップで活躍するなか、二〇一九年に日本で開催されるラグビーワールドカップのキャンプ地誘致の動きもいよいよ本格化してまいります。高地トレーニングのメッカである菅平を最大限活かすための地区振興施設整備(屋内体育施設整備)などにつきまして、しっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

実りの秋

上田市議会事務局 片岡 文夫

今年も五月に開かれました東京真田町の会第二八回定期総会に出席をさせていただきました。昨年に引き続き山口会長さんをはじめ、皆様のお元氣な姿に接することができ大変うれしく思いました。皆様のお熱いご支援に感謝感激で

す。

上田市は豊作の秋を迎え、「松茸」が当たり年となりました。お盆過ぎから気温が下がり、雨が続き、ことから例年より早く市場に出回りました。給食に松茸を出す小学校や松茸定食を学食として提供した市内の大学が新聞で紹介されていました。



私は、昨年の「日本ダボス」に、太郎山に熊が出たことを書きましたが、今年は「山の木の実」も豊作になり、その結果として熊の出没が大幅に減りました。一月八日付の信毎に「熊の目撃 県内大幅減」との記事も出たところです。一安心です。さて、最近の上田市議会の様子を

いくつつか。議会は話し合いをして物事を決める場所ですが、現在の議会の審議は、議員が質問し行政が回答する形で進むのが一般的で、議員同士の議論が少ないのが実情です。全国の都道府県議会、市町村議会でも同様です。このため議員同士の議論を活性化させようと「議員問討議」を審議

の中に入れる議会が始めました。上田市議会でも昨年議会機能強化特別委員会を設置して「議員問討議」の実施に向けた準備を始めました。現在は試行の段階に入っています。上田市議会基本条例で「市議会は、不断の議会改革に取り組みものとする」とされている中で、議会活性化に向けての取組が続いています。

また、来年一月の大河ドラマ「真田丸」放送を控え、議員の独自の活動として上田市観光産業振興議員連盟が、全国の県市町村議会に対し、上田市への行政視察と宿泊を案内するダイレクトメールを議員自ら作成し準備を進めています。他の市町村議会から上田市へ見える行政視察の件数は、今年一月から数えて三四団体、二九四人となっています。上田市を訪れる観光客数も確実に増えている今、多くの議会に上田市を訪れていただき、その経済効果が広く波及するようにと願って活動しているところです。

今後東京真田町の会の皆様にはご支援をよろしくお願いいたします。終わりに、東京真田町の会の益々の御発展と、会員皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



《広告欄》

ニットウエハラ

ニット製品各種製造：婦人セーター・カーディガン・巾着など。秋・冬には新作ニットを中心に工場内で直売会を開催

〒386-0151 上田市芳田 1823-1

TEL 0268-36-4503

FAX 0268-36-4513

上原良治・輝子



例 ①ニットショール名称：上田城千本桜。例 ②と③は真田雁丸屋扱い。例 ②真田勝運巾着；表裏六文銭織込通帳とお洒落物入れ。例 ③ミニ巾着目録入れ；表六文銭織込

(有) 上原重機

クレーン作業は懇切丁寧で定評のある上原重機

へご相談下さい

Rough terrain crane/TADANO

25V 10V 7V 5t

吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・庭園

(庭石・植木)・その他一般

〒389-0505 東御市和 1086-1

TEL 0268-36-2369, FAX 0268-35-0502

上原重二・恵子(大日向出身旧姓一之瀬)



「真田郷の泰平」

戸沢出身 柳沢 郁政



我が国の戦国時代は金閣寺などと栄えた足利氏の室町幕府が家督抗争の応仁の乱から、1615年に真田幸村が大阪夏の陣で討ち死にし徳川時代に替るまでの150年間と言われています。1468年(応仁2年)

坂城の村上氏が侵入し、傍陽小学校の裏山の洗馬城が攻撃され海野氏は破れ後退しました。村上氏に半田、堀内、曲尾、横尾氏が従い神川の西側を支配し、東側は海野、真田氏の勢力圏となり神川を挟んで対峙する事が73年間続きました。

信綱寺の黒門横の打越城(古城)は横尾氏が造った要塞跡とされて、海野、真田氏もこれに対抗して十林寺の山崎の杜に監視所を設けたといわれます。1541年に再び海野平の合戦が起こり海野氏は村上義清、武田、諏訪の連合軍に敗退し滅亡しました。海野氏の傘下にあった真田幸隆は領地を失い、上州に落ち伸び

ました。1548年の上田原合戦の時、真田幸隆は武田信玄に招かれ従う事になりました。武田方は信玄も負傷するほどの敗北でした。村上方の配下で戦っていた当主の横尾信光が戦死したため、幼少を抱えて上州甘楽郡へ逃れ、随伴した人達は全員がその後、戻ったと言います。1550年に武田軍と村上軍による砥石城の争奪戦が行われましたが「砥石くずれ」と言われ、村上軍の追撃で大敗しました。その翌年に「砥石城、真田幸隆が乗っ取る」と極めてあっさりとした記録があり、単独で落城させる大手柄を立てました。曲尾氏が武田方につき補給路が断られた為と推測され、曲尾氏は恩賞を受け塩田平に所領を受け移住しています。

真田幸隆は上州へ追われてから12年ぶりに神川の東側の旧領地を回復し、西側をも支配する真田郷の形成が初めて成されたのでした。戸沢集落は不思議だと思っっていますが、神川の西側ですから村上、横尾氏の支配地域で有りました。しかし戸沢の住民は横尾の人達と行動を共にして来た記録がなく、歴史上で地名も住民の苗字も一切出て来ず、わら馬引き行事、行屋小屋が3カ所に有るなどと独自の文化を現在も継承されています。

私は以前に「二つの戸沢」を当誌に投稿し、砥石城主になった小山村虎満が出身地の甲斐都留の戸沢村と

同じ地名を付けたと移住説を書きました。最近の新しい研究資料から移住説を補強する根拠をつかむ事が出来ました。

真田昌幸が兄信綱の長篠合戦における戦死に伴い家督を次ぎ真田郷に戻った頃、武田、真田氏の家臣で関連あった宮島、深井、柳沢、小林、樋口姓の人達を戸沢、横尾集落に移住させた事です。

さて平成10年に真田町誌が編纂されたときに昌幸が実施した検知書「真田氏給人知行地検帳」が下原の清水潤さんが所蔵されていて発見されました。編纂に当たった桜井松夫さんが昨年さらに分析を加え発表されました。神川東側の原之郷が中心ですが御料所(直轄地)21名、武士101名、寺宮社4名、職人散使10名、計133名分の身分、土地面積を解説しています。主な内訳で若殿様小吏(昌幸近侍)小林七郎右衛門、御きた様小吏(信綱夫人近侍)宮島武右衛門、侍樋口新三、侍深井神七郎の名前が出ています。深井氏は以前、海野氏の家老であり真田氏の家臣となっています。

戸沢と横尾集落の中間位置で信綱寺黒門の横に打越城跡が有ります。宮島家の人達は昔から古城跡の維持に当たり例年秋分の日には祠の前でご先祖まつりを行っています。古城跡地の一部に宮島家の土地があり、

《広告欄》

ARTIST 森本幹生

(元)日本選抜美術家協会常任理事審査員
 国画院会員・師範、国画水墨院常任理事
 〒211-0062
 神奈川県川崎市中原区小杉陣屋町1丁目6-8
 ☎(Fax)044-733-0267

信州◇戸倉上山田温泉

ホテル 和風旅館 別館
圓山荘 **西乃館**

〒389-0821 長野県千曲市上山田温泉 2-9-6
 〒389-0821 長野県千曲市上山田温泉 1-59-11
 TEL 026-275-1119 TEL 026-261-0324
 FAX 026-275-1109 FAX 026-261-0325

信州・源泉掛け流し温泉宿

宮島、柳沢家の人達が耕作していま
す。古城に隣接する小林、樋口家の
墓地には古い墓石があります。その
一方、昨年発表された甲州方の資料
によると、武田氏滅亡後、甲斐都留
の郡内小山田茂誠は真田昌幸に仕え
家老となり、長女村松殿を妻に迎え
ています。小林七郎右衛門も小山田
氏の家老で活躍していましたが出家
して甲斐を離れたと史料にあり、河
口湖町の石碑でも確認されました。

信綱寺の改称前は打越寺といい、
真田昌幸が戦死した兄信綱、昌輝を
葬りました。御きた様は高井郡中野
の高梨政頼の娘で信綱との政略結婚
でした。打越寺は須坂の興国寺の末
寺でもあるので開山当初から真田郷
の泰平の要と考えており、宮島、小
林、樋口氏が仕えていたのでしょう。
柳沢、樋口氏は武川衆に出て来ます
が、甲州の北杜市小淵沢付近で諏訪
口の国境の防衛を当たっていた土豪
の武士団で、真田氏とはすべての合
戦で協力関係がありました。史料が
少なく解明には至っておりませんが、
甲州への調査旅行はまだ続くこと
になりそうです。(完)

幸村公のエピソード二題

竹室在住 常田 軍三

一、九度山脱出の話

「村中を酔わせて真田ずつと抜け」

この川柳は上田出身の飯島保著作
『川柳真田三代記』に載っている句
である。この本の注釈を紹介すると、
「慶長十九年(一六一四)十月六日、
豊臣秀頼の、密牒みつづに応じ、亡父(昌

幸のこと)の法要に仮託して九度山
村中の百姓を招き、十分酔倒させ、
そのひまに出発したりと言ふ幸村大
坂城入城の一段は、今日も講談とし
て聴者を喜ばす所なり」とある。文
中「密牒」とは秀頼が幸村に宛てた
大坂城への入城を招請した書状をさ
して言っている。この句は、九度山
村を退去するにあたってとった、幸
村の当日の奇想天外な行動を伝えて
いておもしろい」

退去に当たって幸村は、幸村の九
度山配流とともに上田からついてき
た家臣等と協議して、

「世話になった高野山や麓の方々
黙って退去するのも忍びない。父の
法要に事寄せて皆の衆を招き、酔い
つづれるまで酒を振る舞い、寝込ん
だすきをみて出立することにしよ
う」

と意を決した。幸村の律儀な性格の
一面を伝える話である。

幸村の脱出の日、長年幸村や昌幸
と交流のあった九度山、学文路、橋

本の庄屋や村人たちに案内状が出さ
れ、当日は三々五々多くの村人た
ちが集まった。酒宴の挨拶で幸村は、

大坂入城のことはおくびにも出さず、
「祭りでもあるから酒宴では酔いつ
ぶれるまで飲んでいただきたい」
とにこやかに挨拶したという。そ
の夜の幸村の九度山脱出についてこん
な古い記録が残る。

「信仍のぶより(幸村) 橋本山の百姓数百人
を九度山に招き、仮屋あまた設けて
酒宴してもてなし、上戸下戸をいわ
ず、しひたりしほどに、酔伏して前
後もしらず、その時百姓の乗り来し
馬にいろいろの物取付、百人計打立
ち紀の川を渉り橋本山より木のめ路
にかかり、大坂にぞ行きたりける」
幸村の面目躍如たる脱出劇でした。

二、幸村のスカウト合戦

「スカウト」とは「有望な人材を
探し出したり、引き抜いたりするこ
と」と辞書にある。現代ではスポー
ツ選手の獲得に当たって使われてい
る。真田幸村が活躍した「大坂夏の
陣」の時代にも豊臣、徳川両陣営は
浪人たちを巡って、このスカウトの
動きが活発であった。特にその渦中
にあった幸村は両陣営からの標的で
あったといっても過言ではない。

まず豊臣方では、大坂冬の陣の開
戦の気運が高まった時点で、幸村の
獲得に意欲を燃やし、秀頼からの使
者が蟄居していた九度山の地を訪れ、

《広告欄》



土木工事 解体工事 測量 造園 除雪

株式会社山崎商會

代表取締役社長 山崎 勇治

〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2

TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558

e-mail:yamazaki_shyoukai@yahoo.co.jp



山崎公認会計士事務所

Yamazaki CPA Office

公認会計士/税理士 山崎 友揮

(長野県上田市住吉出身)

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-6-7 岡部ビル 5F

tel. 03-6272-6539 fax 03-6272-6765

e-mail.yamazaki@yy-cpa.com

「黄金二百枚、銀三百貫」を提示して、味方として大坂城入城を招請したとされている。この額を石高に換算すると約一万七千石、高額な支度金の額である。幸村はこの額よりもむしろ、年来の秀吉の恩義に報いるためにこの招請に直ちに応じた。

次に徳川方、冬の陣の真田丸の攻防の戦い後のこと、幸村の戦い振り、家康は本陣の茶臼山から目にして、「幸村が真田丸で戦う限り大坂城攻略にはかなりの犠牲を払わねばなるまい」と危惧を覚えた。そこで、家康は幸村を籠絡(ろうらく)し、味方に引き入れる工作を幸村の叔父で、その時点では家康の配下となつて旗本三千石の真田隠岐守(おきのかみ)に命じた。

隠岐守は直ちに真田丸において幸村に会い、「徳川の味方になれば、十万石の大名にする」との家康の内意を伝えたが、幸村はけんもほろろに一蹴した。すると家康は、今度は信濃一國を与えるからどうかと使者をさしむけたが、この使者に対し、「上野正純より信濃一國下さるべく候間御味方に参り候へと申し候へば、真田腹を立て候て、隠岐守に対談申さず候」と幸村は拒絶、利より名を求めた、幸村の存念がにじみでた怒りを発したという。この毅然(きぜん)たる態度はまことに「日の本一の兵(つわもの)」に相応しい挙措(きよそ)きよそ」といふべきであろう。家康のスカ

ウトは失敗し、籠絡は実現しなかった。(顔写真の掲載は寄稿者の意向で省略しました)

傍陽支部

戦没者慰霊祭

大庭在住 内海 宏光



去る九月二三日(秋分の日)傍陽支部遺族会の秋季慰霊祭が、金繩山実相院の裏側に建立されている戦没者慰霊殿において、午前十一時より挙行された。

式に参列されたのは、上田市遺族会長初め来賓八名、特別参列者として旧上田中学卒業生の「山猿会」のメンバー一〇数名、その中にはかつて東京真田町の会の会長であった三井芳郎様も老齢にもめげず、颯爽として参列された(兄が南方で戦死)。当日は「天気晴朗にして、秋葉散る」良日であった。私事であるが、私は昭和一八年生まれ(七十二歳)、一番若

い方の遺族(私の家は長男がテニアン島で玉碎、次男が中支で戦死、二人とも昭和一九年の同じ日に戦死)であり、「推して知るべし」参列された遺族は、七〇代後半か八〇代?と史料される。

前日に慰霊殿の落ち葉掃除:当日参列者に石碑に刻まれた肉親の名前に触れてもらえる様に戦没者の名前が刻まれている大きな石碑はきれいに清掃して置いた。参列者は慰霊祭終了後、肉親の名前に触れていった人が多かった。

式典は初めに支部会長(私の挨拶。挨拶の中で先の大戦で犠牲になられた方々の冥福をお祈りするとともに、世界の恒久平和を祈念しました。

また20年前に信濃毎日新聞社から発行された「手記 私の戦後50年」の内容に触れて、父が軍隊に召集され残された家族のこと、終戦近く田舎に強制学童疎開させられた小学生。満州開拓団に一家が参加し、父が軍に現地召集され、残された家族が終戦後、やつとの思いで日本に帰ってきたこと、日本に帰りついてからの生活が塗炭の苦しみであったこと、そこから這い上がり、現在の平和で豊かな生活に辿りついた事等を紹介し、そしてこの本に出てくる人々全員が「もう戦争は嫌いだ、恒久の平和を」と訴えていることを強調しました。

《広告欄》

かんせいえん
菅清園
菅平まんじゅう
製造、販売

地酒・地ワイン・地ビールも揃えております

菅平高原 菅清園 Tel: 0268-74-2525 Fax: 0268-74-2655

なお、この本に出てくる人々は当時、戦後50年で平均年齢が60代後半ですから、今生存されていれば80代後半と思料されます。私はこの本を読み、夜は眠れませんでした。そして今日の「平和が永久に続きますように神様にお祈りしました。」

また私事ですがお断りして、実家の土蔵を解体した際に、出征した長兄の未整理荷物の中から、満州から南方のテニアン島に転進する前に、実家に送られた荷物に父・母・弟・妹に宛てた手紙があり、母に宛てた手紙の中に「一番下の弟(宏光)を大事にしてくれ」とあり、私は何度も読み返しながら「一字一字」を見つめ泣きました。また遺品の中には、

出征の際の湊功旗(そうこうはた)「祝う 入宮 内海源治君」上田地方事務所一同 がありました。私はこの旗をお盆中 そして今もお仏壇に飾り、御線香を上げて「迷わず成仏 南無釈迦牟尼仏」を唱えてお祈りしますと紹介しました。そして「もう戦争は絶対だめ、永久に平和を 今日慰霊祭に参列された全員で英霊に誓い合おうではありませんか」と涙ながらに訴えました。

席上、来賓の方々を代表して池内上田市遺族会長及び三井市会議員(傍陽出身)から大変心のこもったご挨拶を頂戴しました。

その後、金繩山実相院住職の読経中に、参列者が一人づつ慰霊殿前に

進み出て、英霊にお線香をあげて一礼し、今年秋季の慰霊祭が滞り無く終了しました。

尚、上田市遺族会が作成した「戦没者の追憶」―二〇一四年一月三十一日発行―によると傍陽地区の戦没者は、日清戦争・北支事変二名、日中戦争・太平洋戦争一四六名である。ここに謹んで「戦死者のご冥福」をお祈り申し上げます。

「高齢者講習雑感」

顧問 小林 孝雄

(曲尾 出身)



「一般社団法人自動車検査登録情報協会」の発表によれば、「マイカーの所帯別普及台数」は、平成二六年三月一日現在で一、一台で、台数は全国で五、九八一万台という。今やマイカーのない所帯は皆無であり、私の家でも二台ある。

高齢になると共に人間の記憶力・判断力は低くなる。そのため各県の

公安委員会は、七五歳以上の運転者に「高齢者講習」を義務づけており、その修了証書がないと警察署は運転免許証の更新を行わないことになっている。私の免許証は今年一〇月八日までとなっているので、九月一日に近くの自動車教習所で高齢者講習を受けた。今回で四回目の受講であるが、今年卒寿を迎えた私は、今年が最後であると思っている。

高齢者講習の内容は、記憶力・判断力を判定する認知機能検査、適正視力検査、シミュレーターによる運転適性検査、教習所内のコースでの運転実習の四種類である。

この中で私が最も劣化していると感じたのが視力検査である。この検査の一つが「視野角検査」というもので、車を運転している時、進行方向の左右を確認できる視力のこと「動体視力」という。一車線で中央にセンターラインのない狭い道路を走る時に、この動体視力が特に重要である。私の運転歴は三二年にもなるが、この動体視力の衰えを実感するようになったのはほぼ七五歳を過ぎた頃からである。偶々狭い一車線の道路を進行している時、対向車とすれ違う時に接触を避けようとして、必要以上に左側に寄りすぎ、一度は電柱に左側ドアをこすり、一度は何かの突起物でサイドミラーを壊すという自損事故を起こした。いず

《広告欄》

九段中央法律事務所

誠実に、確実に、そして親切に

弁護士 山口 元彦 弁護士 鈴木 謙
 弁護士 奥野 伸二郎

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-10-1
 九段勤業ビル5階
 TEL 03-5215-1511 FAX 03-5215-1512
 地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線 九段下駅
 徒歩5分 (ホテルグランドパレス向かい)

不動産に関する問題 相続問題 金銭問題
 交通事故 刑事事件・少年事件 その他

れも動体視力の衰えが原因と言える。私の友人達はほとんどが現在運転を止めているが、やめた理由の大半が動体視力の衰えが原因であるという。今回の検査で私の動体視力は、時速三〇kmで〇・六と判定され、三〇歳から五九歳平均に相当する、という結果であった。やゝ安心できる結果ではあるが、運転している時の実感とは、相当の隔たりがある。今後肝に銘じて運転することが重要である。

課題は今後何歳まで運転することができるかである。高齢者による高速道路の逆走とか、アクセルとブレーキの踏み間違えとか、自動車事故のニュースは連日のように報道される。その都度運転を止めるよう決断を迫られるような気持がする。私の住む横浜市は坂道が多く、また狭い一車線の道路も多く、運転の必要性を痛感したり、運転は無理だという思考が相互に交錯する。

自動車運転に最も必要な条件は、道路の良否であり、東名高速・関越道・中央高速等次々に整備されるに従い、車の台数は次第に増加した。私は夏休みには、墓参と休養を兼ねて、子供・孫達と車四台を連ねて菅平高原に行き、ほぼ一週間ゴルフや散策を楽しんだ過去が懐かしく想起される。道路の整備と共に、新車も次々に開発され、やがてガソリン車に変わって電気自動車時代が到来するかも知れない。

今回の高齢者講習は一組二〇名で行われたが、大半の人が今回で運転を終わりにしたい、と話していた。理由は人様々である。運転は免許を取る時は簡単であるが、やめるときは相当の覚悟が要る。高速道路を走る時の快感や名車の出現で更に運転を続けたい、という夢が消される等心境は複雑となる。

幼少時の遠足前夜も心ドキドキ弾んで、お目々はパッチリよ。我等同輩は皆同じかもよ！

予定時刻前に一路九度山町めざし大宮を出発進行。東名海老名を経て浜松で昼食し、名神高速に入って(燃料タイム)、四日市(長島温泉)、鈴鹿、伊賀上野を経て、シトシトピッチャン降り続く夕闇のせまる中、橋本のホテルへようやく到着した。夕刻、ホテル近くのラポール橋本(商工会議所)の六階大ホールにて満席のなか姉妹都市交流会が始まった。来賓者の挨拶、続いて気迫のある九度山町六代目岡本町長の六文銭一筋の心意気、バッヂやグッズ、刺繍までも服装に、人なつっこい人情味こもった挨拶にも感銘だった。

「九度山訪問記」

八木 五郎

(中横 出身)



案内が届くや、すぐに参加を申し込んでこの旅を実現できた。

千葉を出て、大宮駅西口の集合時刻に間にあうには、早朝の乗換え本数が少ないこともあり、たつぷり二時間はかかるが、そのへんはいつも慣れたものだ。現役の勤めでも早出のときは四時出勤だし、月に一、二回の山トレッキングでも、六時に千葉駅集合などはあったりまえだ。

この後、信州上田観光大使野村未奈さんが私の手の届く目の前で「千曲川哀歌・くれないの船」の生歌を、感動！郷里真田町の同輩、男女、友の奥さんにも五十数年ぶりに会えたのも懐かしうれしかった。

明けて、世界遺産慈尊院(女人高野)を詣。この寺から石道(一〇九メートル)を過ぎて卒塔婆石、二〇キロ先に高野山がある。寺から長い石段を登り切ると、パッと視野が開けた。ピカピカ眩しき金色に輝き連なる三つの社殿は春日造りとのこと、忌明清祓社(いみあけきよはらい)に目を見張った。

《広告欄》

空き家・留守宅・空き室の管理 お任せください

大切なお家を
建物のプロが
しっかり守ります。

お電話ください

(株)空き家のおまわりさん

〒386-0151 長野県上田市芳田 468-6
(株幸和建設内)
代表取締役 宮下 幸良
TEL0268-36-3114
FAX0268-36-3838

mail : info@kowa - kensetsu.jp

第二十八回 総会・懇親会のご報告

事務局長 鈴木 邦子

(横尾 出身)



平成二十七年五月二十四日アルカディア市ケ谷 五階の「穂高の間」において第二十八回総会・懇親会が開催されました。今年も天候に恵まれ、会員四十八名、上田市行政関係から三名、上田市議会から六名、JA信州から二名、東京上田会、東京丸子会から各一名、NHK清水様、真田家十四代当主真田様、の皆様にご出席賜りました。初めに恒例の「信濃の国」を全員で声高らかに斉唱！

◎総会

司会 副会長 堀内寿美

○ 山口元彦会長挨拶の概要

上田市から副市長様始め大勢の議員の皆様、そして今年は来年のNHK大河ドラマ「真田丸」の担当プロデューサーの清水様、また真田幸村公のご子孫であられます、真田 徹様にもお越しいただきました。後程ご紹介いたします。皆様お忙しい中、本当に有難うございました。

「真田丸」主役の真田幸村公につきましては、お二方に詳しいお話をお聞きすることにしたしまして、私の方からは、昨年総会の際に、年会費値上げについてお願い致しましたが、今回ここで皆様には是非ご了承願いたいと思います。もう一つ役員補充について皆様をお願い致しました。その際、大日向出身の、一之瀬和夫様をお願いいたしました。ご本人所用で今回来ておりませんが、宜しくお願致します。

○ 上田市副市長 井上晴樹様のご挨拶概要

市長所用の為、代わりに参りました。今上田市は「真田丸」で非常に盛り上がりつつあります。

上田市と真田町が合併して十年に成ります。偶然大阪夏の陣からは四百年、また戦後七十年と言うことで節目の年でもあります。そんな訳で来年二十八年には、十周年記念事業を盛大に開催しようと計画しております。沢山のお客様に来て頂くためにも、市の方では駐車場の整備などしたり、中学生の皆さんが、「真田丸プロジェクト」と題して、おもてなしを考え、パンフレットを作ったり、

観光プランなども勉強したり、お客様をお迎えする準備をしながら心待ちにしております。

二十九年のラグビーワールドカップのキャンプ地、また二十二年の東京オリンピックのトレーニングセンターにと考え、東御市と上田市が共同で、湯の丸高原、菅平高原に色々な施設を作りたいと検討しています。それらにも、真田丸関連にも大変お金がかかります。折角の機会ですので、ここでお願いに成りますが、皆さんの故郷上田市の発展のためにも是非ふるさと寄付にご協力頂きたいとお願い申し上げます。

【議事】

○ 山口元彦会長 会計報告 ・ 荻原啓治監事 会計監査報告

平成二六年度会務報告及び会計報告・平成二七年度事業計画及び予算の決定

平成二六年度会計監査報告
以上 全員一致でご承認頂きました。

【真田丸関連のお話】

○ NHK 担当プロデューサー 清水拓哉様お話の概要

NHK制作局ドラマ部に所属しています。今までの主な作品は「新撰組」「風林火山」「江」「八重の桜」をプロデュースしまして「真田丸」で五本目になります。戦国最後の武将

でもある大スターを手掛けることが出来幸せに思う。ロケ地選び等でもお世話になったり、ご迷惑もかけるかと、御恩返しの意味もこめ、上田市と真田町の良さが全国に伝わるようご当地での撮影をと考えております。またキャストイングについても、三谷監督がイメージしやすいよう相談しながら進んでおります。とにかく視聴率を上げるためには、皆さんの口コミ等お声がすぐ反映されますので、「真田丸」を是非応援して頂きアテナを張って頂きたいと思っております。ご覧いただきご不満な点などありましたら、お叱りは全て、私が承りますので宜しくお願い致します。

○ 仙台真田家第十四代当主真田徹様お話の概要

私の家系は、真田幸村の二男（八）の家系でございます。仙台真田家十四代当主となり受け継いでいます。戦国時代を生きた先祖ですが、悲壮な覚悟で戦い、連戦連敗で残念な結果で、悲劇の大將などと悪いイメージが多く、幸村自身もそれ程、実績があつたわけではないが、非常に運が良いのです。不思議な男といいますが、そんな人だったんですね。まあ、なんととっても一番の見せ場は、大阪夏の陣での、五月六日の道明寺の戦いだった。ここで伊達軍と交戦した後、伊達の家臣に嫁いでいた阿梅の夫、片倉のもとで共に暮らしていたが、後に元服して片倉

守信となりました。どうしても真田姓に戻りたかつたんですね、二代目になってから、片倉姓から真田姓になり現在に至っています。

「真田丸」がNHK大河ドラマで放映されるのですが、悲劇の大將ではなく、艶やかで面白い男と言われるような最期をとげるドラマになる事を願っています。私も真田に来ますと、何かほっと致します。もしかすると、幸村さんは真田のお屋敷あたりで生まれたのかもしれないね？**、とにかく色々な説がありますが、方々で講演をしておりますので詳細は是非お出掛けに成ってください。

◎ 懇親会

司会 副会長 柴田小夜子

○ 副会長 飯島慶三郎

歓迎の挨拶概要

副市長様、議長様、始め大勢の議員の皆様、JA信州うえだの塩川様、長嶋様、NHKの清水様、真田家十四代真田様、お忙しい中お越しいただき感謝申し上げます。

昨年の秋の会員旅行の際は雨の降る中、センターの皆様にお出迎え頂き、なおかつお土産まで頂きました。心から御礼申し上げます。本日はどうか時間の許す限り、歓談いただき故郷のお話をお聞かせいただきしたいと思います。

○ 監事 深町共栄 来賓のご紹介
皆様 本日は大勢お越しいただき

有難うございました。ご来賓の皆様をご紹介申し上げます。

上田市行政関係の皆様

上田市副市長 井上晴樹様(秋和)

真田地域自治センター長

高橋義幸様(中之条)

真田地域自治センター 地域振興

課地域政策係 伊藤岳彦様(菅平)

上田市市議会関係の皆様

上田市市議会議長

下村 栄様(腰越)

上田市市議会副議長

池上喜美子様(踏入)

上田市市議会議員

古市順子様(竹室)

三井和哉様(岡保)

佐藤論征様(真田)

上田市市議会事務局長

片岡文夫様(小牧)

JA信州うえだ関係

JA信州うえだ常務理事

塩川寿友様(東御市新張)

真田統括支所長 長嶋巖様(真田)

真田丸関係

NHK担当プロデューサー

清水 拓哉様

仙台真田家十四代当主 真田徹様

在京他会の皆様

東京丸子会会長

土屋博様(上丸子)

東京上田会専務理事

宮島光男様(横尾)

以上 十五名の皆様にご出席賜りました。
(写真提供:武捨衛)



① 会長挨拶
② 総会の一コマ

③ 懇親会の一コマ
④ 輪踊り

○ 上田市市議会議長

下村 栄様ご祝辞概要

本日は「真田丸」につき、プロデューサーの清水様と真田家十四代の真田様から沢山のお話を伺い益々夢が膨らみました。議員としましても、何かしなければと、三井議員を中心として、観光市民会館の皆さんに企画を練って貰っています。観光を始め、地域の産業の活性化や質の向上にもこの大河ドラマ「真田丸」が一番のテーマとなっておりますが、一過性とならないよう上田市の魅力を全国にアピール出来るよう取り組んでまいります。本日はこのような事を話題にしながら皆さんと楽しく過ごしたいと思ひます。

○ JA信州うえた常務理事

塩川 寿友様祝辞概要

地元上田の農産物等大変ご愛顧いただき感謝します。先程来「真田丸」のお話がありますが、私どもの出荷物には、商標登録をしております農協のお許しを頂き、やたらと「六文銭」「真田幸村の郷」と言う名前を遣わせて貰っております。今日お持ちしました、「えのき」と「りんごジュース」にも、また箱などにも使っております。NHK大河ドラマ「真田丸」が放映されると、そのおかげで一層目立つものと思っております。昨年は、二月の大雪でビニールハウスがつぶされたり、雹害にあった

りで大変でしたが、今年は遅霜もなく順調に、おいしいレタスやアスパラが出ています。とにかく上田は様々な行事に向け燃えております。真田丸のご当地キャラクターの縫いぐるみも作って貰っています。農協としましては、これからも、美味しく、安全でより新鮮な農産物を皆さんにお届けしたいと頑張っております。来月は菅平の山開きにもなりますし、お盆過ぎには、レタス祭りも計画しております。皆さんには是非ふるさとへお越し頂き沢山召し上がって貰いたいとお待ちしております。

○ 乾杯の挨拶 会員 堀内 福様 (下横道)
東京真田町の会、そしてふるさと上田市の更なる発展と、今日ご出席の皆さんの、ご健康と、ご多幸を祈念いたしました。乾杯！

○ 宴会及びアトラクション
今年、本条流師範、本条秀邦様による三味線にあわせ民謡と踊りを楽しんでいただきました。

また会員有志の皆さんによるカラオケや踊りなど披露頂き、そのあと上田市から頂きました「りんご券」を全員で、「ジャンケンポン！」とにぎやかに勝ち抜き戦をし、しばし童心に戻られたのではないのでしょうか。会場が故郷の思い出ばなしや四方山話で盛り上がり会場が笑顔で一杯になりました。

○ 閉会の挨拶事務局長 鈴木邦子

本日はお忙しい中大勢の皆様にお集まりいただき有難うございました。また来年もお元気で出会い出来ます様お願い申し上げます。

○ 東京真田町の会 理事一同

本日は、市長様から、沢山の「りんご券」そして、JA信州うえたの塩川様、長嶋様から新鮮な「えのき」や「りんごジュース」を出席者全員に頂戴いたしました。心から御礼申し上げます。

☆ 総会出席会員名簿

(敬称略・順不同)

長

- 追木 道子(横沢・永井)
- 岩崎 みち子(菅平・正木)
- 大橋 けさ子(菅平・山本)
- 大久保あき子(菅平・川上)
- 大久保治夫(大日向)
- 荻原 啓治(四日市)
- 川上 年美(菅平・宮崎)
- 神田 幸雄(横尾)
- 倉島 峯子(横尾・鈴木)
- 椎名 巳津男(横沢)
- 篠崎 さく(大日向・大久保)
- 柴田 小夜子(菅平・市村)
- 鈴木 郁夫(横尾)
- 鈴木 邦子(横尾・鈴木)
- 武田 守央(真田)
- 中島 正江(戸沢・関谷)
- 野村 勝太郎(大日向)

- 堀内 政(横尾)
- 宮島 光男(横尾)
- 柳沢 郁政(戸沢)
- 山口 元彦(横沢)

傍陽

- 飯嶋 啓三(中組)
- 井上 かつ代(田中・堀内)
- 内海 章緒(大庭)
- 海瀬 弘司(曲尾)
- 金子 誠(田中)
- 桜井 和子(下横道・中沢)
- 佐藤 昌江(萩・柳沢)
- 杉村 房枝(萩・落合)
- 関 弘吉(中組)
- 館野 清實(田中・堀内)
- 中沢 欣勇(下横道)
- 中村 洋子(田中・木下)
- 鳴沢 今朝信(萩)
- 萩原 清人(萩)
- 橋詰 吉万雄(中組)
- 平田 金子(岡保・橋詰)
- 深町 共栄(田中)
- 堀内 福(下横道)
- 堀内 寿美(上横道)
- 堀内 幸(上横道)
- 堀内 泰男(萩)
- 武捨 衛人(中組)
- 八木 五郎(中横道)
- 堀内 保芳(三島平)
- 清水 民子(曲尾)
- 堀内 幸子(堀内 寿美夫人)
- 堀内 利子(堀内 寿美夫人友人)
- 飯島 慶三郎(下原)
- 和田 美木子(大畑・荒井)

本原

各部の活動報告

☆親睦旅行

今年の親睦旅行は、来年一月からNHKで大河ドラマ「真田丸」が放映されるので、縁の深い和歌山県の九度山町をふるさと真田町と合同で訪れました。

期日 27年11月14～15日

参加者 男13人女7人計20人

日程 1日目

大宮駅西口パレスホテル前で上田市の送迎バスに乗車出発(7:50) 首都高速・東名高速(途中SAで昼食)・西名阪自動車道～ルートイン橋本(宿泊宿)着16:40 姉妹都市交流会(17:30～20:00)

参加者 市職員8・九度山町7

市民交流団33・当会20計68

日程 2日目

ルートイン橋本出発(8:00) 慈尊院(ガイド付、約40分) 真田庵(ガイド付葉40分) 大収穫祭IN九度山(土産購入約60分) 西名阪自動車道 東名高速(SAで昼食) 首都高速 大宮駅西口パレスホテル前(19:45)到着、お疲れ様でした解散。

この九度山町訪問にあたって、真田地域自治センター長様はじめ職員の皆様には大変お世話になりました。有難うございました。(金子誠理事)

○慈尊院門前に勢揃い



○宴たけなわです。



○九度山町長様のお見送りで。○真田庵にて語り部の話を聞いています。



写真提供…山口会長・鈴木理事



① 右: 真田地主大権現 (六連銭)
 ② 中央: 真田地主大権現 (社殿)
 ③ 左: 幸村・大助卒塔婆
 いずれも九度山町にある貴重なモニュメントです。

九度山訪問旅行参加者名簿

(敬称略・順不同)

- 荻原 啓治(四日市)
- 関 弘吉(中組)
- 館野 清實(田中)
- 金子 誠(田中)
- 佐藤 昌江(萩)
- 山口 元彦(横沢)
- 神田 幸雄(横尾)
- 川上 年美(菅平)
- 大橋 けさ子(菅平)
- 倉島 義明(横沢)
- 中村 洋子(田中)
- 八木 五郎(中横道)
- 飯嶋 啓三(中組)
- 平田 金子(岡保)
- 堀内 幸(下横道)
- 堀内 寿美(上横道)
- 野村 勝太郎(大日向)
- 柳沢 郁政(戸沢)
- 鈴木 邦子(横尾)
- 桜井 和子(下横道)

☆ スポーツ

(担当：荻原啓治)

堀内 政 理事

◎マレット・ゴルフ

春の大会は5月13日恒例のコースで開催され、出場者は7人で、優勝は滝沢様でした。秋の大会は降雨のため中止となりました。

○ 春の大会に出場の若々しい皆さん



◎ゴルフ同好会

当会と上田会の春の交流ゴルフ会は4月23日に八王子多摩GCで参加者21名で開催されました。優勝は手塚紈仁様準優勝は倉見英一様でした。秋の交流ゴルフ会は10月22日に武蔵野CCで21名参加して開催されました。当会からは山口会長、堀内理事、佐藤宏次氏の3名が出場し、名人堀内 政理事がベスグロを獲得しました。拍手！

(13頁四段最終行から続く)

六文銭が刻まれた門、善名称院(真田庵、真田昌幸・幸村父子隠棲屋敷跡)、真田古墳(真田抜け穴)の

入り組んだ小路散策中に、フツと気づくと、己々家の玄関先に六文銭の飾りがブラ〜ブラリ。

「幸村真田祭り」に町民の一体感を痛感。近くに結構な水量なる紀の川あり、有吉佐和子氏の小説知るも戦国の世、赤フンで幸村公も泳いだろうか？

町長さんの計らいで時間前に「柿の郷くどやま大収穫祭」に早々と入場、雨でぬかって足元悪しも何のその、広い場内人々の波・・・本場の富有柿はじめ物産、飲食、フリーマーケットなど、数え切れぬ出店。特設ステージでは、太鼓、舞など色々な催しあり、見る暇なし。上田市からも、りんご、地酒、物産展など、我幼少の頃の岡保の造り酒屋の真田城あり、無性に懐かしかった。

九度山町長、九度山の皆さん、また郷里真田町の皆さんに見送られて帰途に入る。第二東名(途中で事故による停滞あり)から、八王子経由で鶴ヶ島大宮へはいる。真田町から茸の詰め合せ箱と九度山町長から「柿の葉寿司」深町さんから差し入れのりんごをいただいたうえ、ズッシリの富有柿背負って、両手にも荷物しっかり持ち、十六日に日変る前に帰宅となりました。

真田地域自治センター役員の方々、添乗の方、超遠路のバスの旅を室川さん掛川さんの両運転手さん御苦労さま。大変お世話になり、有難うございました。

余談になりますが、懇親会終わって宿に戻るも寝るにはまだ早しと同輩三人、先輩の四人にて傘さして雨の橋本の街へくりだすも、フロントで聞いた場所とは反対の通りで「カラオケ・スナック」をチョイス。傘の滴払いてスリッパに履替え店内へ。驚いた、たまたま、ここになんと癒しの館がー！特注品か棚も中のボトルの配置も調度品にも木目細やかな配慮が、それに控えしは物静かな育ちの良さか、カウンターに座り我らに注ぐウイスキーグラスの中の氷もコロンと踊る。スラリ中肉中背でチョウ美顔ママさん(東京銀座ママより上いつてるかもヨ)が・・・飲めや歌えやチョウウ機嫌の二時間半、夜の橋本満喫の悪童四人組でした。

あの店近くあれば毎日通うよ！ママの顔チラチラ浮かんで寝られなかった。帰途のバスのなか、余韻に浸るダメ爺さんも。ただし、誰一人として、店名「三」、ママさんの名を記した者は居なかったですよ。チャンチャン！

沢山の感動、感激の実感ある限り、我等には認知症あるまいぞ!! 終わり。

「ふるさと」

柳澤 寛

(萩 出身)

長野県小県郡傍陽村八九一番地、これは我が出生の地、我が身を育んだ

揺籃の地である。

同村は中央までせり出した山裾により西と北とV字状に二分されている。亦村は十二の行政集落により構成され、北側は三島平を水源とする洗馬川が流れ、西側の入軽井沢を水源とする傍陽川は途中岡保、中組、大庭を経て、曲尾区で洗馬川と合流、我が幼少時は現状より水量が多かった？そんな思いである。



北側にそびえる大松山は冬季の寒風を遮って村人を護り、南側の太郎山は心やさしく村人に語りかけて：亦、洗馬川であるが上流はその名を半田入谷(いりや)川と称し、川沿いには古くから半田姓を名乗る幾多の人達が居住していたと私は考える。又同村には信陽鉦山、大倉鉦山と二つの鉦山(やま)が存在。信陽鉦山からはロー石、大倉鉦山からは硅石(けいせき)が採掘され、ロー石は耐火煉瓦の原料として、亦硅石は研削グラインダーの材料として出荷されていたようだ。

信陽鉦山は全山がそのままロー石、他方大倉鉦山の硅石は鉦山(やま)に鉦脈が走りそれを追って隧道を開き鉦石を採掘し傍陽駅までトラック輸送、当時は上田電鉄が目的地までの輸送を担っていた。

私自身年輪を重ねる事八十八回、世間ではこれを米寿と称えて祝福する風習が存在。私自身大正十五年の出生故これに該当、年齢重ねればその数丈望郷の念がつのるのみ。

忘れ難きはふるさと 傍陽村

私が真田町の「アザレアン真田」を訪問して

顧問 中島 正江
(戸沢 出身)



この施設を訪問しようと思ったのは、わたくしの住む近くにショートのステイ(デイホーム)ができたとき、ボランティアで週二回ほどお手伝いに行くようになったからです。そこで、資格を取ってホームでお手伝いしているうちに、皆さんに笑顔が見

られないことに気がついたので、習っていた歌や踊りを披露するうちにとつても良い笑顔になってきたような気がしたのです。「あーこれだ」と思い、いろんな施設へ慰問に行くようになったのです。

そんな折、私の姉を引き取ることになって同居をしておりましたが、段々体も弱ってきて認知症になり、家を出て行ったとき、一時間たっても帰ってこない、近所探してもいない。あるときは、パトカーに乗って帰ってきたり、警察署にいるとのことで引き取りに行ったりと、そんなことが幾度かありました。もう家でも見きれないということで、老健の施設に入ったり、入院したり、特養に入ったりと大変でした。そこで前にやっていた施設慰問を始めたところ大変喜んでいただいたので、続けて行くことにしました。さらに、ほかの施設からも要望があり、いろんな所へ行きました。皆さん本当に楽しみに待っていて下さいます。笑顔で手をにぎったまま離さない、手をなでなですることでようやく解放してくれます。

姉が入院したりしている時、「長野とても良いところよ」と先生や皆さんに毎日宣伝をしました。そうすると、「今頃は桜がどこかで咲き始めたよ」と、また、「桃やりんごの花も咲きだすよ・・・」と、病室の窓をな

《広告欄》

齋藤指圧治療院

齋藤 勇 一

(真田出身)

〒153-0043 東京都世田谷区松原 5-56-10

シャポール東松原 301号



03-3322-6622

がめながら話してくれるのです。不思議と季節がわかるのかなど、おどろいていたことを覚えております。だから私が「貴方は長野県の観光大使に任命します。安田せつみ様へ」と書いたものを病室へ貼っておきましたら、みなさんに大笑いされてしまいました。それだけ愛した長野真田町なので、私も一度真田町の施設を訪問してみたいと思っております。そんな折、堀内美弥子さんが、そのお世話を下さるとの事。丁度、真田まつりに出席する予定があったので、その日と思い上田駅まで堀内さんにお迎えに出させていただきました。アザレアンでの私の舞台、踊りや歌は、たった短い時間ではありましたが大変喜んでいただき、入居者の皆さんとも仲良しになり、また「来年も楽しみにね、…」など話して別れました。私のやっていることで少しでも皆さんが笑顔で一日楽しく過ごせるならば私も幸せになります。

姉は入院七ヶ月の後、八九歳十一ヶ月で一月二六日に永眠しましたが、私のやっていることをとても喜んでいたので、少しは役に立てたかなー、と思っております。

人は皆、淋しい時があります。手と手を握り合えば心が通じます。手のぬくもりを忘れないようにしたいものです。

帰りには、元会長の三井芳郎様宅に一泊させて頂き昔話に花を咲かせて

ました。ご夫妻も元氣にお過ごしで、次の朝はすがすがしい田舎の空気を吸い、田畑の散歩時にはトマトやキウウリ等をもぎ、そのまま食べたりと、楽しい一時を過ごさせていただきました。また、会いましょうね、と上田駅での別れ際には、いろいろと思ひ出されて涙が出そうになりました。

いま、世田谷区の娘夫婦の近く喜多見には次大夫堀という田んぼがあり、そこには移築された古民家もあって、アメンボやザリガニなどがいる小川もあります。そして、世田谷区の社会福祉協議会の子育て支援にも参加して保育園や子供達の見守りなど色々楽しくしています。

東京真田町の会の皆さま、どうぞお元氣でお過ごしください。そして、上田市真田町の皆さま、真田町の会をこれからもどうぞよろしくご指導ください。

・・・・・・・・・・・・・・・・

傘寿のつづきから

「わが青春の歌」

理事 武拾 衛人
(中組 出身)

傘寿を迎えた機会に心に残る「わが青春の歌」について綴って見たいと思います。

六十余年前、故郷を遠く離れた中京地区の岡崎で工場勤めをしながら味気ない大学受験の浪人生活をして

いた私に、以前からその存在が気になつていたふるさとの女高生から元氣いっぱい、少しラブレターめかした暑中見舞いが届きました。生気のなかつた私は元氣をもらつて色よい返信をし、彼女は折り返しの手紙で帰省の予定は？……私は帰る予定等なかつたのに、一も二もなくお盆九月一三(一六日)と返信し、初秋の上田城跡公園で初デートと一人の交際は急展開を見せたのです。



《青春の城下町》歌唱 梶光夫 昭和
三九年六月 私二八歳 歌詞一部変更
《一十年早く出て欲しかった。異郷でふるさとの彼女に思いを馳せていた昭和二九年頃の私の気持ちにピッタリな曲でした。》

一 流れる雲よ 城山に
のぼれば見える 君の家
灯りが窓にともるまで
見つめていたつけ 逢いたくて
ああ青春の 思い出は
わがふるさとの 城下町
どこへも誰にも 嫁かないと

誓ってくれた 君だもの
故郷に僕が 帰る日を
待っておくれよ 天守閣
ああ青春の 思い出は
わがふるさとの 城下町

翌春大学進学で上京したので、彼女との距離は400kmから200kmに縮まりましたが、やはり手紙の交換が中心の遠距離交際でした。修学旅行の京都の宿から届いた長文のラブレターが今では数少ない彼女の記念品になっています。

大学生と女高生のカップルで、私は彼女の抜群の頭脳と鋭い感性、純粹さを高く評価し、また澄んだ瞳の面影にぞっこんで理想のカップルと思ひ、大事に育てようとしていたのですが、胸躍らせて帰省した夏休みの一年ぶりのデートの図書館に、彼女は数人の学友と連れ立って現れ、二言三言、言葉を交わしただけで、夏休みの過ごし方を相談する機会もなく、富士登山の折に買った土産を手渡すきつかけもつかめずに時間だけが過ぎ、そのうちに彼女は友人達との集団行動で帰宅してしまつたのです。

大学に入ってからずっと楽しみに待っていた夏休みの一年ぶりのデートの惨憺たる結果にすっかり落胆した私は、彼女の気持ちを図りかねて悩み、デートに誘う勇氣も知恵もない砂をかむような悲惨な日々を耐えかねて、一回切りだったデートの思

い出が残る前年秋の上田城跡公園の

デートスポットに泣きに行き、彼女の澄んだ瞳の面影を偲びながら気が済むまで泣いた末に、十代で未熟だった私は浅はかにも「俺は凜とした男だったはずだ」と潔よく「十代の恋よさようなら」の決意を固め、新学期に備えて帰京したので。

《十代の恋よさようなら》はこの夏休みの2年半後に神戸一郎のヒット曲ですが、私の体験した夏休みの悲惨な日々はこのタイトルに感じられる甘さなど全くない惨憺たるものでした。そしてこの別れを確認しながらの帰京の旅の魂の凍てつく思いは生涯忘れる事の出来ない悲しい青春のモニュメントになっています。

《十代の恋よさようなら》歌唱：神戸一郎 昭和三二年一月私二二歳
二年余り前に失恋した私の心情にピッタリだったので、すぐにレコードを買い、繰り返し聞いていました。

一 好きでならない 人なれど
別れてひとり 湖に
悲しく棄てる 男の涙
ああ 十代の恋よ さようなら
恋の名残りか むらさきの

三 りんどう風に 散る夜は
臉に沁みる ホテルの灯り
ああ 十代の恋よ さようなら
この曲より少し前からヒットしていた近江俊郎の甘い声がマツチ

した《別れの磯千鳥》も「わが

青春の歌」の大事な曲です。

《別れの磯千鳥》歌唱：近江俊郎 発売時期不詳

一 逢うが別れの はじめとは
知らぬ私じや ないけれど
せつなく残る この思い
知っているのは 磯千鳥
三 希望の船よ ドラの音に
いとしあなた 面影が
はるか彼方に 消えて行く
青い空には 黒けむり

東京で下宿した新宿十二社(じゆうにそう)の熊野神社付近は、秋には夜霧に包まれることが多く、一年後にヒットした山田真二の《哀愁の街に霧が降る》は、自ら選択した失恋の淋しさに悄然としていた私にぴたりでした。

《哀愁の街に霧が降る》歌唱：山田真二 昭和三二年八月 私二〇歳

一 日暮れが青い灯 点けてゆく
宵の十字路 泪色した
霧が 今日も降る
忘れられぬ 瞳よ
呼べど並木に 消えて

三 切なく降る降る 身も細る
霧の十字路 窓を漏れくる
唄も すすり泣く
懐かしの ブローチ
肌冷たく 沁みて

ああ 哀愁の街に 霧が降る

ああ 哀愁の街に 霧が降る

自然に遠ざかった私に彼女はなぜ？の風情を見せ、また交際復活の機会も何度かあり、青春の悩みを繰り返しましたが「二人の交際の匂は大学一年の、あの夏休みまでだったんだ」との悲しい思いや「好きだと云えぬ、なぜ言えぬ、古い傷跡あるからさ」とあの夏休みの砂をかむようだった悲惨な日々の想い出が障壁となつて、交際復活に踏み出す勇氣も知恵もないまま、いつの間にか半世紀余りが経過し今では遠い昔の青春の甘酸っぱい思い出の一コマになつていのです。

しかし深く別れを選択したはずの十代の彼女には強い未練が残る、この未練に終止符が打てたのは大学院一年の夏休みで、それまでの四年間は秋の試験休暇の度に、一人で癒しの旅に山中湖や赤城山の湖畔の大学の寮を訪れ、澄んだ瞳の彼女の面影を偲び、気が済むまで泣いたものでした。

傘寿を迎えた今考えると、この四年間が私の心に彼女との別れを固めさせ、そして後の適齢期に未練な風情を示す彼女に、はじめをつけなければと私に別れを告げさせたのでした。その時の寂しげだった彼女の面影が今でも私の魂を激しく揺さぶります。後にヒットした『湖愁』や『山

の湖』はこの頃の私の気持ちにピッタリでした。

《湖愁》歌唱：松島アキラ 昭和三六年一月 私二五歳 歌詞一部変更

一 悲しい恋の なきがらは
そつと流そう 泣かないで
かわいあの娘よ さようなら
たそがれせまる 湖の
水に浮かべる 木の葉舟
三 夕星一つ 又一つ
濡れた瞳を しるばる
思い出すまい なげくまい
故郷は遠い あの峰を
越えてはるかな 空のはて

《山の湖》歌唱：石原裕次郎・浅丘ルリ子 昭和四一年四月私三〇歳

一 森の梢に 陽は落ちて
時雨を誘う 鐘の音
ああ落葉松(からまつ)の 湖に
今年も秋は 忍び足し
三 蒼い都の 宵月(よいづき)や
臉に沁みる 雨の駅
ああ人の子は 恋ゆえに
他国の空の 雲を見る
五 ここも一夜か 山の宿
あす待つあては ないものを
ああ昏く(くれ)なすむ 湖に
落ち葉の雨は またそそぐ

彼女は 友人以上恋人未満の微妙な関係に後退して3年後の春に大胆にわが家を訪れてくれ、また後年の

適齢期にはプロポーズを待つ風情を見せてくれましたが、私には「十代の恋よさようなら」と積み上げた青春の日々の淋しく苦しい想い出が障壁となつて彼女に別れを告げる結果になり、音信が途絶えたまま、半世紀余りが過ぎ去りました。

最近彼女が、若き日の私との交際を宝物のように大切にしている由を風のうわさで知り、私にもう少し勇気と知恵があれば全く別の人生を過ごせたかも知れないと思ひ返ししましたが、傘寿を過ぎた私に今出来るのは、半世紀余りの過ぎ去つた月日をしずかに辿りながら、彼女の幸せな老後を遠くから祈願することだけです。

(写真は半世紀前の大学院受験当時の私です)

会員の皆様の

近況報告抜粋

(敬称略・出身区・旧姓)

一 秋葉昭雄(入野沢・小林)

いつもお世話になっております。残念ですが出席できません。元氣です、皆様によろしく。

二 荒木廣之(下原)

会長をはじめ役員御一同様の益々の健康とご多幸を心からお祈り申

し上げます。

三 飯嶋啓三(中組)

いつも大変お世話して頂きありがとうございます。私の妻にまつておさそいいただきましてありがとうございます。早いもので今年も皆様と会える日が来ました。皆様と会える日が楽しみです。ですが、「県違いなので遠慮します、皆様に宜しくお伝えくださいませ」とのことです。

四 一之瀬和夫(大日向)

欠席いたします。連絡を遅らせておつてすみません。あいにくと、真田中昭三五年度卒業同期会(鹿教湯温泉鹿嶋荘)と重なりました。払込済の参加費は七分分の年会費として下さい。皆様ご健康でお過ごしください。

五 井上かつ代(田中・堀内)

役員のみなさま御苦労さまです。皆様にお会いできることを楽しみにしています。宜しくお願い致します。

六 岩井泰子(中原・荻原)

役員の皆様いつもありがとうございます。暖かかったり寒かったり今年の気候がようやく落ち着き、新緑の美しい季節となっております。毎日元気で生活できますことを感謝しながら過ごしております。ふるりの皆様にお会い出来ます事を楽しみにしております。

七 岩崎 弘(中原)

いつもお世話になります。「盛会をお祈り致します。

八 岩崎みち子(菅平・正木)

いつも本当にお世話になり大変ありがとうございます。皆様にお会いできる事、楽しみにしています。

九 内海章緒(大庭)

真田家のお話など楽しみにしています。

一〇 内海宏光(大庭在住)

我が家の平地の雪は無くなりましたが、烏帽子岳や東太郎山などの山肌には雪が見えます。気候は五寒二温といつところ。一温の日でも夕方は北風に朝方は霧下です。それでも農家は馬鈴薯などの作付けのため石灰をまいた畑を耕運機等で耕し終えています。真田地方の桜開花はまだですが、梅は咲きました。リンゴの一回目の消費が始まりました。川の雪解け水は何時よりも多め。踏のつとは酔味嗜で三回くらい食しました。

一一 大橋けい子(菅平・山本)

いつもありがとうございます。皆様にお会い出来る日を楽しみにしております。

一二 荻原啓治(四日市)

「健康第一」に注意して毎日を送っています。

一三 荻原敏子(六沢)

会報に載る写真や記事を楽しみにしております。

一四 海瀬弘司(曲尾)

今年は故郷をはなれて六十年目です。皆さんとの再会を楽しみにして

《広告欄》

スポーツケア &
コンデショニング

さくらまち整骨院

つらい症状がまんしてませんか
[お問い合わせ・ご予約] 日祝休
☎ 03-5426-2177

院長 細野 貴志

〒 154-0014
東京都世田谷区新町 2-15-10

います。

一五 加賀見晶子横沢・山本

幹事様いろいろ御苦労さまです。

ご盛会をお祈りしています。

一六 神田幸雄(横尾)

役員の皆様御苦労さまです。小生、

この三月に会社を卒業し、四月から新たな目標に向けて第三の人生をスタートしました。今年も総会でお世話になります。直しくお願い致します。

一七 久保新一(角間)

ご苦労様です。ご盛会を祈ります。

昨年から郷里に戻って生活しています。故郷の山河はよいものです。

一八 小林公江(大日向・塩沢)

役員の皆様いつもお世話有りがとございます。都合がつかず欠席します。ご盛会をお祈り申上げます。

一九 小林孝雄(曲尾)

お陰様で元気に暮らしています。

でも、高齢となり一人での遠出はむづかしく、残念ながら欠席します。

二〇 小林正子(下横道・堀内)

皆様にお会い出来ることを楽しみにしていましたが、どうしても外せない用事があり欠席させて頂きま

す。皆様にごめんごお伝えください。盛会です。ありがとうございます。お祈りして

二一 齊藤民子(下塚・山浦)

NHKや新聞で何回も「真田丸」の放映を伝えています。来年の大河

ドラマを楽しみにしています。ご盛

会をお祈りしております。

二二 桜井和子(下横道・中沢)

おかげ様で元気です。五月二四日

を楽しみに出席します。

二三 笹沢ケサム(横沢・久保)

しらかば通信いつもありがとう。ふる里を離れている私共にとって輝く吉報が届きますように祈念いたします。また、発行に当たり会長さん

役員の皆様には大変ご苦労さまです。

二四 佐藤宏次(田中)

毎日元気に余生を楽しんでおります。テニス・ゴルフいつまでできるか。他の行事と重なりましたので、申し訳ありませんが欠席させて頂いた

いたします。

二五 佐藤昌江(萩・柳沢)

お世話になります。どうぞよろしくお願

いいたします。

二六 椎名巳津男(横沢・山口)

謹啓、早いものですね。昨年の総

会から一年がたち、元気な皆様にお

逢い出来ますことが楽しみです。た

くさんの方々が出席されますよう

に！上田からおいでいただき、市の方

々及び役員の皆様方の御苦労に対

し感謝申し上げます。よろしく！

二七 柴田小夜子(菅平・市村)

今年も皆様にお会い出来る事を楽

しみにしております。

二八 清水清晴(中横道)

役員の方々いろいろご苦労様です。

ありがとうございます。年齢のため

遠出はできませんので欠席させてい

ただきます。皆様によりよくお伝え

ください。

二九 清水征夫(中原)

喜寿を迎え、「四国八十八遍路の

旅」を今年も元気で歩きます。

三〇 白井 彰(曲尾)

いつもご案内いただきありがとう

ございます。

三一 杉崎壽二(菅平)

都合により欠席します。本会の

益々のご発展をお祈り申し上げます。

三二 杉村房枝(萩・菱谷)

御世話になります。よろしくお願

い申し上げます。

三三 鈴木郁夫(横尾)

オートマタの商売を昨年で終りに

しました。あとは、ボケないよう趣

味で新規のオートマタ(文字書きな

ど)を作っております。

三四 鈴木民子(竹室・高寺)

いつもお世話になって居ります。

台所のリフォームが終わる直後です

ので、厨房具や食器棚などを戻したり

整理したりで、出席は無理かと思

います。来年は出来れば出席したい

と思っています。

三五 滝沢けさ子(赤井・若林)

結婚式や葬式など忙しくて、あ

ちこつちと出かけています。

三六 武田守央

参加したことのない級友を電話で

お誘いしましたが、会場でお会い出

来るか楽しみです。

《広告欄》

有限会社 千曲美装

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104

Tel 0268-23-7896、Fax 0268-23-7813

e-mail t_miyashita@chikumabiso.co.jp



毎七前に相談して良かったわ!!

アパート、マンションから一般住宅までリフォーム・メンテナンスの全てをお引き受けいたします。お気軽にお声かけ願います。

三七 館野清實(田中・堀内)

今年も元気でお会い出来ること嬉しく、出席します。

三八 田中恒夫(横尾)

いつもご苦勞様です。出席したいところですが一寸遠いので欠席させていただきます。身体の方は元氣、皆様によろしくお伝えください。

三九 塚田加代子(横尾・宮崎)

しらかば通信をいつも楽しみにしております。ふるさとのトピックスで小・中学校の新入生数を見て、ふるさとの少子高齢化を感じましたが、福祉面では手厚いと思っております。冬の厳しさはありますが私にとって良きふるさとです。

四〇 中沢欣勇(下横道)

しらかば通信ありがとうございます。今年も総会の便りが届き歳の早さに驚く次第です。毎日元氣であります。また、皆様とお会い出来ることを嬉しく思います。役員の皆様ご苦勞さまでした。

四一 中村恵美(秘)

年齢にあわず背骨の骨折で身動きがとれません。毎度のことで申し訳ありません。皆様によろしくお願ひ申し上げます。

四二 中村洋子(田中・木下)

役員の皆様いつも有りがとうございます。お陰様で今年も行かれます。楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。

四三 成澤今朝信(秘)

海上自衛隊を定年退職し早や一七年。今も横須賀市文化会館で働いていますが、今回は出席できそうなのでよろしくお願ひ致します。

四四 鳴沢 隆(秘)

返信遅くなりました。先約があり出席できません。次回にはお世話になります。いただいた「しらかば通信」で母校傍陽小学校の新入生が四名と知りびっくりしました。私たちの年は一〇名はいたと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

四五 野村勝太郎(大日向)

新相馬節や小諸馬子唄を唄わせてください。

四六 橋詰吉万雄(中組)

毎年四月に行っている小学校の同級会が、今年が高齢の幹事都合で遅れるとの知らせがあり心配。第二八回総会および懇親会を楽しみにしております。

四七 花岡孝雄(横尾)

真田中学校の同期会が五月二四日から二五日に開催されるため出席できません。親友の山本君が責任者のためです(当初予定は六月五日から六日でしたが急遽変更になって。申し訳ありません。

四八 半田幸一(田中)

幹事の皆様ご苦勞さまで。お陰様でなんとか生きていますが、脚腰の悪いさえなければ出席したいのですが残念です。田中区の皆様による

しくお伝えください。御盛会を祈ります。乱筆ですみません、失礼します。

四九 久野けさ志(中横道・堀内)

いつもお世話になり、ありがとうございます。今回も用事が出来てしまい欠席します。幹事の皆様ご苦勞さまで。

五〇 平田金子(岡保・橋詰)

幹事の皆様大変ご苦勞さまで。真田町の会への出席を楽しみにしております。宜しくお願ひ致します。

五一 深田共栄(田中・山岸)

昨年の総会は法事と重なり、参加できませんでした。今回は出席いたします。会員の皆様とお会いできるのが楽しみです。

五二 布施京子(真田・木島)

欠席します。皆様によろしくお伝えください。

五三 堀内 幸(下横道)

元氣です。総会に一人でも多くの方々との出会いを楽しみにしています。

五四 堀内敏夫(中横道)

田舎にある二本のブルーンの木を帰省のたび消毒し、昨年の秋には実をつけ収穫出来ました。今年もその喜びを味わいたいと思います。

五五 堀内敏文(下横道)

連絡ありがとうございます。当日は他の行事と重なるため欠席します。「真田丸」関係の話が聞けないのが残念です。盛会になることをお祈り

〈広告欄〉

ゆっくり湯治してほしい温泉宿。かけ流しの温泉でココロも身体もほかほか。心を込めた手作り料理も宿の自慢です。無料送迎バスで、皆様のすてきな旅をお手伝いします。

信州鹿教湯温泉 水車のまわる宿

TEL 0268-44-2236

〒386-0323 長野県上田市鹿教湯温泉 1422



申し上げます。

五六 堀内寿美(上横道)

連絡遅くなりすみませんでした。妻幸子とその友人(峯村利子様)が「真田丸」のディレクター清水拓哉様のお話をお聞きしたいというので誠にすみませんが三人出席でお願いできたらと思います。宜しくお願ひします。

五七 堀内 福(下横道)

皆様とお会い出来ること楽しみにしています！

五八 堀内 勝(下横道)

皆様によろしく。

五九 牧内 操(秘)

真田町出身の旧制上田中学卒業者で組織された「山びこ会」のメンバーです。毎春に定例会をもっていますが、年を経ることに故郷は懐かしく、それに同郷の仲間ともなれば共に語り合うことがなんとも楽しく嬉しいものです。八五歳ともなれば、身も思つように動きません。残念ですが欠席します。

六〇 牧内泰男(秘)

皆さんに会えることを心から楽しみにしております。

六一 松井志づ江(秘・柳沢)

お陰様で元気で過しておりますが、欠席します。

六二 丸山廣義(曲尾)

NHK大河ドラマで放映されることが決まった「真田丸」に関連する方々がお招きされること。

歴史好きな私にとってこの上ないこととす。残念ながら他の会合と重複し誠に口惜しく思いますが欠席させていただきます。皆様のご健康とご盛会をお祈り申し上げます。

六三 三井芳郎(天庭)

元気で居ますが高齢のため欠席させていただきます。皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。皆様によりしくお伝えさせていただきますようお願い申し上げます。

六四 宮寄十人重(菅平)

残念ですが都合わるく欠席します。よろしくお願ひ致します。

六五 宮本 優(大日向)

いつも御連絡くださりありがとうございます。あいにくの所用で欠席します。申し訳ありません。

六六 武捨衛人(中組)

総会の盛会を祈念しています。元氣なうちに交流を楽しみましょう。

六七 森本幹生(入軽井沢)

仕事で出席できませんが盛会でありますように一皆様のご健康を祈念します。なお、ダボス誌では昨年同様によりしくお願ひします(広告)。

六八 八木五郎(中横道)

無理が通れば道理引つ込む！二年前に続いて、寒い時季に右腕を酷使して肩腱板断裂。痛くて力も入らずパンツ履けず、腕もあがらずの連日激戦中です。アッ！コイタイの仲間入りです。ガンバリから楽しむことへ切替える時かもしれませぬ。

手術も視野に回復を目指します。

六九 柳沢郁政(戸沢)

上田から高齢の姉夫婦が息子の所に引っ越してきました。私のうちからも近いので行ったり来たりして、真田の話で盛りあがり元氣になりました。総会に出席し新しい情報を得てまた話してやろうと思ひます。

七〇 柳沢喜三郎(秘)

体調芳しからず。残念ながら欠席です。御盛会を祈ります。

七一 柳沢俊美(戸沢)

総会・懇親会のご案内をいただきありがとうございます。体調を崩し通院しておりますので、欠席させていただきます。皆様によりしくお伝えください。

七二 柳沢弘敏(秘)

平成二七年四月から新住所(茅ヶ崎市浜見平へ移りましたので、住所変更下さるようお願いいたします。

七三 柳沢 實(秘)

常日頃は大変お世話さまです。寄る年波で体力の劣化には抗し難く、会員様とお話も叶わず本当に残念です。御盛会を心より念じつつ。

七四 柳橋米子(下横道・内山)

毎年ダボスや色々でお世話になっており、ありがたく感謝しております。東京の友達にも「信州はいいよ」といつも自慢していますが、なかなか故郷には帰れません。こちらに暮らし居る友達とは電話で元氣をもらっております。私にとってダボ

〈広告欄〉

東京真田町の会

顧問 三井芳郎

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 11510

☎ 0268-73-2616

東京真田町の会

顧問 小林孝雄

(曲尾出身)

〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野 4-45-5

☎ 045-349-2084

又誂は生きがいのようなもの、いつも励まされています。

七五 横沢武典(大畑)

無沙汰しており申し訳ございません。よろしく願います。

七六 横沢義雄(大畑)

当日はグラントゴルフの大会があり欠席しますが、皆さんによりよくお伝えください。

七七 吉川栄子(中組・武捨)

元気に過しております。

七八 若林正春(大畑)

体調優れませんが、欠席させていただきます。

獅子柚子の

皮ごとレシピ

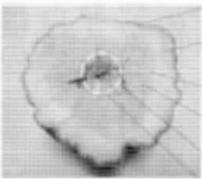
大日向出身 一之瀬和夫



獅子の表情がいくつも表皮に刻みこまれたような姿、初めて見る人にとってはなんとも異様な柑橘で「ししゆず」といいます。でも、ここに紹介するレシピはまた風変わりなも

のを提供してくれます。

最近では、この種の柚子が暮正月の縁起飾りとして店頭で見られるようになりました。中国原産で、梅雨時に開花結実して、十月頃にその雄姿を見せます。大きなものでは外直径が八寸ぐらゐ、質量は二、三ぐらゐです。神奈川での我家にある獅子柚子の実は、十月下旬から黄色に、十一月下旬に収穫となります。十五年前のこと、初めての収穫に大喜びして鑑賞したあと、包丁を入れてビックリ！綿の部分がことのほか多く、中央部はカラ・・・。「食べられるところはたったのこれだけ？全体の四割もない！」でした。その断面を見ると、外表皮(フラベド)の内側には厚さ一吋ぐらゐの白綿状の中果皮(アルベド)があり、そこへわずかに果肉(砂のう「サノウ」)を含む袋(じょうのう)が貼りつき、果心は袋ごと外方へ引かれ、中央部は空洞(大きさは外直径の約三割)でした。



外表皮
中果皮
袋
果肉
果心
空洞部

普通は、この柚子を煮込んでジャムやマレードを作りますが、ここでは、生のまま獅子柚子を皮ごと使うレ

シピを紹介します。

- (1) 準備する素材：獅子柚子 2kg あたりの目安として、純米酢 500g、白砂糖 0.15kg (いづれも大雑把)。道具はボウルと密封用ポリエチレン袋(あるいはタッパ)。
- (2) 千切り柚子の準備：①表皮を水洗いして水分を拭き、中果皮から剥がしたこわい袋は使いません。外表皮に中果皮をつけたまま外表皮側から包丁を入れ、薄千切りして(ゴリゴリ感がよければ③位の厚切り)、果肉もボウルへ入れておく。② 純米酢へ白砂糖を放り込んで沸騰液にする。
- (3) 仕込み：この沸騰液を千切りの柚子へかけて酢液を絡ませ、平熱になるまで放置する。
- (4) 寝かせ：ボウルからポリエチレン袋かタッパへ移して二日間ていど保冷し、適宜反転する。
- (5) 中果皮の白綿部があめ色になれば食べ頃です。酒好きの方では、厚切りして噛みこたえのある食感を、砂糖を少な目にすれば苦味のある野趣を楽しめます。(編集子)



《広告欄》

東京真田町の会

顧問 塩沢和政 (大日向出身)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 1074-37

☎ 047-450-3348

現代舞踊内海流

舞踊教室

東京真田町の会顧問

中島正江 (戸沢出身)

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 3-22-18-103

☎ 03-6411-0703

～会員消息～ (平成26年11月～平成27年10月、敬称略)

〈入会〉

鳴沢 隆 227-0051 神奈川県横浜市若葉区千草台 8-5 (傍陽)

〈住所変更〉

柳沢 弘敏 253-0062 神奈川県茅ヶ崎市浜見平 15-34-311
オハナ茅ヶ崎ガーデンア (傍陽 萩)

中島 正江(関谷) 157-0067 東京都世田谷区喜多見 3-22-18 パストラル喜多見 103 (戸沢)

大久保 治夫 192-0363 東京都八王子市別所 2-47-1-308 (大日向)

〈退会〉

長い間、会にご協力くださりありがとうございました。くれぐれも健康にご留意ください。

浅水みち子 荻原 學 勝田 昭子 久保 定春 久保かつ子 佐藤 輪子

長野たみ子 野村 富子 藤田 節子 横沢百合江

〈逝去〉

会員一同、心よりご冥福をお祈りいたします。

永山 義子 原田 好幸

〈転居先不明〉

山浦 教代

〈不達〉

宮崎 義昭

「日本ダボス」バックナンバーがネットで閲覧できます

監事 (HP 担当) 深町共榮

ホームページ (HP) は、PCに加え、スマホ、タブレットで閲覧できる時代となりました。東京真田町の会のHPは、平成14年に開設して現在に至っていますが、今年からサーバーの容量が、10MBから150GBと一気に15,000倍に増大しました。この機会に思い切って東京真田町の会の会報「日本ダボス」を創刊号から最新号(27号)までネット上で閲覧できるようにしました。創刊号では、東京真田町の会の発足の様子が分り、また、バックナンバーからここ30年弱の会の活動を知ることができます。そろそろHPのスタイルも古くなってきましたのでリニューアルして内容もより充実したものになりたいと思っております。

利用法は、検索ソフトで「東京真田町の会」を見つけ、東京真田町の会

(<http://www.applescience.com/sanadamachi/>)のHPを開き、日本ダボスをクリックして下さい。

バックナンバーが見られます。

図1に会の主な収入源である年会費、広告、および補助金(町又は市から)、図2には会の運営費の総額と主な支出である総会費と会報発行費を、バックナンバーの決算報告から取り出してグラフにして示します。広告収入において、平成5年度と9年度が異常に高額になっているのは会員名簿の発行によるものです。これらグラフから、会の予算は創立当時から現在までに1/3に減少し、また、年会費からみて会員数も1/3程度になっていることが分ります。今後、東京真田町の会を発展させるためには、なんとしても会員数と収入を増やすことが肝要に思えます。会員の皆様、新会員の勧誘につとめましょう。

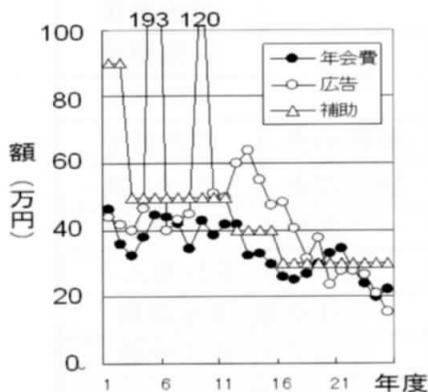


図1

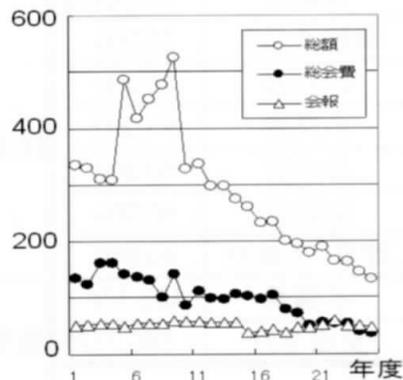


図2



平成26年度 決算報告書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

収入の部			支出の部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
通常年会費	275,000	191,500	総会懇親会費	450,000	373,585
総会懇親会費	430,000	385,000	会報発行費	500,000	342,896
上田市補助金	300,000	300,000	事業費	90,000	70,000
広 告	200,000	275,000	事務通信費	70,000	65,522
寄付金等	60,000	145,000	印刷費	25,000	13,880
利息等雑収入	44	27	会議費	95,000	57,380
			渉外費	50,000	53,944
			交通費	40,000	12,000
			雑費・手数料	60,000	31,635
			予備費	50,101	0
当期収入合計	1,265,044	1,296,527	当期収入合計	1,430,101	1,020,842
前年度繰越金	165,057	165,057	前年度繰越金		440,742
合計	1,430,101	1,461,584	合計	1,430,101	1,461,584

上記の通り収支決算報告いたします。 平成27年3月31日 会計 金子 誠 ㊟
 上記の決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。 監事 深町 共栄 ㊟
 監事 荻原 啓治 ㊟

平成27年度 事業計画

- | | |
|--|--|
| ① 第28回総会及び懇親会の開催 (平成27年5月24日)
② 会報「日本ダボス」第28号の発行
③ 広報紙「しらかば通信」の発行
④ ホームページの運営
⑦ そのほか | ⑤ 会員旅行会・ゴルフ会・マレットゴルフ会等、
会員相互の親睦を図る行事の実施
⑥ 上田市との交流促進のため、ふるさと訪問・
ふるさと特産品の宅配協力 各種文化・
スポーツ行事の実施と参加 |
|--|--|

平成27年度収支予算

平成27年4月1日～平成28年3月31日

収入の部		支出の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
通常年会費	200,000	総会懇親会費	500,000
総会懇親会費	400,000	会報発行費	450,000
上田市補助金	300,000	事業費	150,000
広 告	250,000	事務通信費	70,000
寄付金等	50,000	印刷費	30,000
利息等雑収入	30	会議費	95,000
前年度繰越金	440,742	渉外費	60,000
		交通費	60,000
		雑費・手数料	60,000
		予備費	165,772
収入合計	1,640,772	支出合計	1,640,772

「東京真田町の会役員名簿」

(平成27年12月1日現在)

職名	氏名
会長	山口元彦
副会長	飯島慶三郎
	柴田小夜子
	堀内寿美
理事	監事 荻原啓治
	深町共栄
	事務局長 鈴木邦子
	会計理事 金子 誠
	一之瀬和夫・花岡孝雄
顧問	堀内 政・武捨衛人
	小林孝雄・清水清晴
	三井芳郎・塩沢和政
	中島正江

次回総会の予告

平成28年度の総会・懇親会は5月22日(日)、アルカディア市ヶ谷(私学大雲館)で開催の予定です。大勢の会員の皆様のご出席を頂きますようお願い申し上げます。詳しくは4月に発行の「しらかば通信」第20号でお知らせ致します。

会費のお振り込みについて

当会の会費額は平成27年度までは年千円、平成28年度からは年千五百円です。したがって、未納の方に限り本誌に同封する振込用紙でのお振り込みは千円です。平成28年春にお送りする「しらかば通信」に同封する振込用紙から、千五百円をお振り込みくださるようお願いいたします。いずれの場合もお振り込み料は無料です。

広告御礼

日本ダボス第28号の発行にあたり広告をお願い致しましたところ、大勢の皆様のご協力を頂きました。大変有難く、厚く御礼申し上げます。

新会員ご紹介のお願い

会員の皆様にはいつも会の運営にご協力頂き誠に有難うございます。会員相互の出会いと親睦、そしてふるさと真田町との交流の親密化を目的に誕生した東京真田町の会も、三〇年近い歴史を刻み、先輩役員のご努力、会員の皆様のご協力、そして旧真田町並びに上田市当局のご支援により一人前の同郷会に成長致し、ご同慶の至りでございます。

この東京真田町の会が更に充実し、発展し続けるためには会員の増加が何にもまして重要と思われまします。皆様の友人、知人の中に東京真田町の会の会員に推薦できる方が居られましたら、会長または役員まで是非ご一報頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

連絡先 山口元彦

TEL 184-0012 東京都小金井市中町二一九一六

Fax 042-383-6555

編集後記

『日本ダボス第二八号』を本日も届けたいと思います。最初に貴重な原稿をお寄せ頂いた皆様に心から御礼を申し上げます。

私が本誌の編集を前任の大久保編集長から受け継いだのは第一五号からですから『日本ダボス』の歴史の丁度半分を編集し続けたことになりました。この間皆様の温かいご支援を頂き大過なく過ごす事ができ、本当に有り難うございました。私はずっと先の事だと思っていた傘寿に今年到達してしまいました。

後は私より十歳近く若い新進気鋭の一之瀬和夫(大日向出身)さんが編集してくださることになります。私同様にご支援くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

NHKの大河ドラマ『真田丸』の放映もまじかとなり、ふるさとでも増える観光客の受け入れ態勢の整備に大奮力の由です。

末筆で恐縮致しますが、上田市議会事務局の金井浩一次長様並びに真田地域自治センター地域振興課の伊藤岳彦様、お忙しい時期に格別なご協力を頂き、大変ありがとうございます。また原稿集めにご協力いただいた理事の皆さん有難うございました。(傘寿老人・武拾衛人 記)

《広告欄》

東京真田町の会

監事 深町 共 榮
(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上芝町西5-7-82
〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽825-7
☎090-7225-6491

東京真田町の会に入会しよう！
旅行もあるよ！



広告担当
柴田 小夜子
堀内 寿美
☎03-3467-4035

祝 東京真田町の会 一会報28号一

〒104-0061

イグジットメルサ

東京都中央区銀座 5-7-10 EXITMELSA 7F

tel : 03-6274-6670

mail:rogovski@rogovski.co.jp

http://www.rogovski.co.jp/

Lunch 11:00-16:00 (15:00L.O.)
Dinner 17:00-22:30 (入店は 21:30まで)

Take out 11:00-21:30

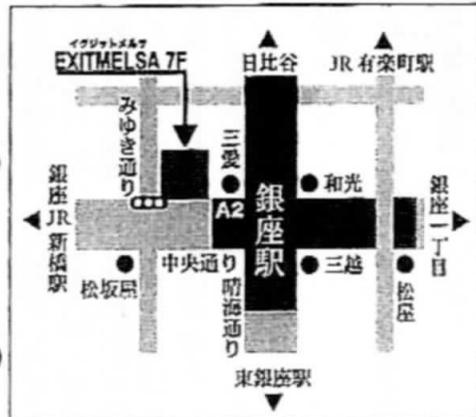
定休日/原則年中無休
(イグジットメルサの営業日に準じます)

東京メトロ銀座駅 (銀座線、丸ノ内線、日比谷線)
A2番出口より徒歩1分 (右斜め前方約70m)

ロシア料理 渋谷ロゴスキー

ROGOVSKI

銀座本店



TOY'S FACTORY

Imaginations are free and fun,
and excitements more wonderful and much greater
"発想は自由に楽しく、そして感動は素敵に、より大きく"

- Mr. Children
- ケツメイシ
- BUMP OF CHICKEN
- RAG FAIR
- ゆず
- melody.

株式会社 トイズファクトリー 代表取締役 井出 孝光

御芳志御礼

宮本 優様

日本ダボス発行資金として金 10,000 円也
のご芳志を頂戴いたしました。
大変有難うございました。



日本ダボス 平成 27 年 12 月 26 日 発行
発行 東京真田町の会 会長 山口 元彦
〒184-0012 東京都小金井市中町 2-19-6

Tel. 03-5215-1511
Fax. 03-5215-1512

編集委員 武捨衛人 深町共栄 一之瀬和夫
印刷 上田市住吉：精巧堂 (株)アオヤギ印刷

創立28周年 株式会社 真田不動産

株式会社真田不動産は創業1985年、不動産業参入以来、東京都内を中心に独自のネットワークによる不動産の買い付け及び販売、不動産競売による入札案件及び競落業務を展開し、「中古住宅再生事業」を主たる業務としております。さらに自社所有賃貸物件、IMPERIAL(インペリアル)/春~六番館は新新で人気の店舗及び事務所 居室等 全65室を所有しております。

IMPERIAL  HORTICULTURE

株式会社 真田不動産

東京都知事免許(1)第87796号
〒120-0005
東京都足立区綾瀬6-30-8
(WAKO)真田ビル1階
TEL 03(3620)2511(代)
FAX 03(3620)2744

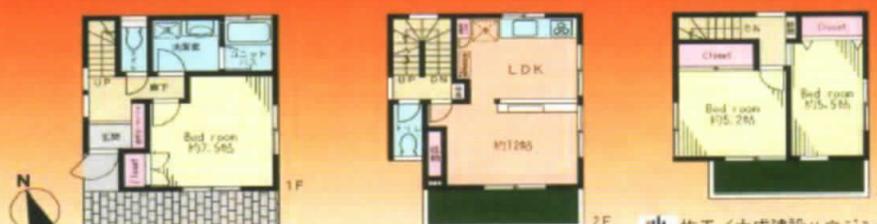
■中古住宅 ■新築
■中古ビル ■新築ビル
3% (税込)



WAKO-真田ビル
勝どき、月島、豊洲、豊洲エリアに物件を保有しております

**銀座4丁目交差点から徒歩圏に…
土地付戸建(平成3年築)
鉄骨造り注文住宅**

都営大江戸線「勝どき」駅徒歩3分
都営大江戸線「月島」駅徒歩10分
首都高速晴海線 平成29年度開通
勝どき駅 拡張工事中!!
※南西向き道路につき日当り・通風良好!



東京オリンピックに向け再開発進む「勝どき」フルリノベーション!!
都心と臨海副都心とを結ぶBRT運行決定!! (全て新品に交換)

■施工/大成建設ハウジング様 (1F・2Fの保証付)
■ALSOK導入可能
■小屋裏換気システム完備

【物件概要】
■所在地/東京都中央区橋本2丁目4-12(日橋表示)
東京都中央区橋本2丁目420番(地番)
■土地面積/96.47㎡(17.00坪) 公道 空地
■土地権利/所有権 専有権
■法定容量/420㎡ ■種類/住宅
■構造/鉄骨造スレート葺3階建 ■間取り/3LDK
■建物面積/74.8㎡(22.80坪) ■築年/平成3年1月築
■用途地域/第二種住居地域 商業地域
■床・天井/205 ■容積率/240%
■地の名称/防火地域、第三種、第二種中高層住居専用地区
■橋本第一・二丁目地区地区計画(決定済)適用
土地利用計画・申請済
(平成10年6月15日 第3号 橋本二丁目4番)
■床/北西向1.6m区画
■道路幅員/東西約2.7mの道路 全長31.680m
■近/交差
■12 ■公営水道・都市ガス・下水水(5ヶ所・雑排水)
■10 ■冷暖房設備の引渡し済み

☆2020年東京オリンピック選手村徒歩10分

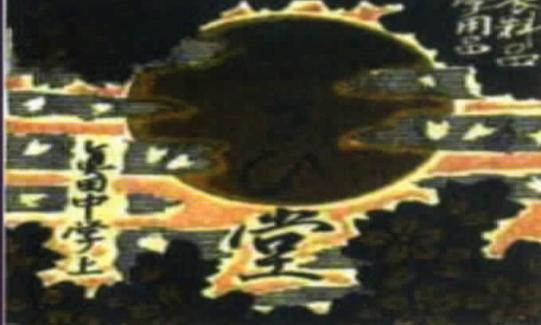
☆勝どき東地区再開地域目前!!

☆トリトンスクエア至近!!

販売価格/6,850万円

※本物件のチラシ・インターネット掲載をお断りします。

銀座まで
15分圏内の
都心生活。
勝どき橋を
渡るとすぐに、
華やいだ
銀座の街並。

当社は、昭和31年先代が長(おさ)村(現真田町)の真田中学校上に創設した文具と衣料品店舗「あさひ堂」が発祥です。(左の写真は創設時のマッチ箱の広告図柄)

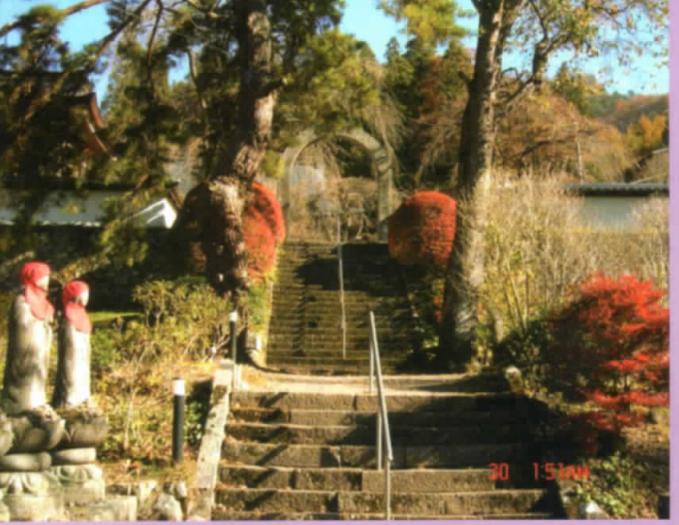
くらしによるこび創りませんか

信州うえだ農業協同組合

代表理事組合長 芳坂 栄一



〒386-8668
長野県上田市大手二丁目7番10号
TEL 0266-25-7800
FAX 0268-25-7820



ふるさとの春秋…最上段：金縄の春爛漫 二段目：長谷寺の春秋
ふるさとの風景…下段：新雪の烏帽子岳 最下段：懐かしい雪景色(曲尾)・ダボス⇒烏帽子岳



新雪の烏帽子岳

